

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

### 調査報告会を開催します

みなさま、新年あけましておめでとうございます。高知県タンポポ調査事務局の田邊です。  
昨年（一昨年も）はタンポポ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。  
このたび、2年にわたる調査結果をまとめましたので、下記の通り報告会を開催いたします。

日時：2026年3月22日（日）13：30～15：15

場所：高知市自由民権記念館民権ホール

定員：130名

参加費：無料

今回の報告会では、調査報告だけでなく、お茶の水大学大学院の毛利陽香氏をお招きし、世界のタンポポ類における多様性の歴史、そして  
その中で日本のタンポポがいつ、どのようにして進化してきたのか、最新の研究成果を元にご講演いただきます。

参加ご希望の方は、タンポポ調査特設サイトの申込フォームからお申し込みください（調査ボランティアさんへは別途出欠のGoogleフォームアンケートをお送りしていますので、そちらからお申し込みください）。

お申込はこちらから→<https://makinodatabase.jp/surveyteam/>

なお、報告会はオンラインとの同時開催はございません。また、毛利氏の基調講演については、論文出版前のため、スライドの撮影は禁止  
します。

それでは、みなさまのご参加をお待ちしております。



No.129 高知県事務局田邊 1月8日 16:27 ...

[返信](#)

### タンポポ採集地図の掲載始めています

猛暑が続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

暑い中にも、秋の空気を感じ始め、タンポポのことはすっかり忘れる季節となりましたが、先月末から調査にご協力いただいた方に同定結果をお知らせしています。

また、調査の特設サイトでは、各地域ごとの採集地図の掲載を少しずつアップしています。

<https://makinodatabase.jp/surveyteam/>

これから事務局では、来年3月の報告書発行・報告会開催のため、データの集計・解析をすすめていきます。

報告書に掲載する調査レポートも募集していますので、是非ご執筆ください。

No.128 高知県事務局田邊 2025年8月22日 11:15 ...

[返信](#)

## 採集地図更新しました

タンポポ調査が終了して、早1ヶ月半が経ちました。  
そろそろ皆さんが調査のことを忘れかかる時期となってしまうかもしれませんが、ようやくデータが整いましたので、まずは調査結果速報第一弾として採集地図を更新しました！

調査でタンポポが見つからなかった地点（メッシュ）がありましたら、ご連絡ください。  
追々、この地図に追加します。

後日、今年サンプルを送っていただいた方には同定結果を郵送いたします（調査ボランティアさんはメールでお送りします）。  
結果が届きましたら、採集データが間違いないか、ご確認ください。

<https://makinodatabase.jp/surveyteam/調査結果速報～タンポポ採集地図/>

No.127 高知県事務局田邊 2025年7月17日 10:40 ...

返信

## ラスト4日！ 採集地図再更新しました

とうとう調査終了まであと4日となりました。  
今年はタンポポの花の期間が短く、過去の本調査の年のサンプル数としては、数が少ない結果となりそうです。  
しかし、効率のいい調査ができていないか、という期待もしています。

調査最終日が土曜日ということもあり、お仕事休みで調査に行ってくれる方もいらっしゃるのではないか、と希望をもち、  
本当に最後の悪あがきになりますが、今日（5/27）の時点でサンプル整理・入力が終わったデータを元に、採集地図を更新しました。  
未採集メッシュの青い地域での調査、時期が遅くて見つけれなかったというご報告もあがっていますが、  
ぜひよろしく願っています！

<https://makinodatabase.jp/surveyteam/%e3%82%bf%e3%83%b3%e3%83%9d%e3%83%9d%e6%8e%a1%e9%9b%86%e5%9c%b0%e5%9b%b3%e3%80%80%e5%86%8d%e6%9b%b4%e6%96%b0%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f%ef%bc%81/>

No.126 高知県事務局田邊 2025年5月27日 13:55 ...

返信

## 大トリアカミタンポポ

タンポポ調査もいよいよ大詰めです。  
昨年同様、この時期は街中でアカミタンポポを探していますが、あまり見つかりません。

今日、散歩の途中でやっと1株見つけました。  
あと数日、アカミ探しに挑戦してみます。

No.125 さかもと 2025年5月25日 23:19 ...

返信

次のページ >

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 >>

合計128件 (投稿71, 返信57)

## タンポポ調査・2025 高知県

ホーム

新規投稿

検索

画像一覧

使い方

設定

## タンポポ採集地図更新しました

今日は一日雨でタンポポ調査はお休みですね。

日数が限られているなか、効率よく調査していただくために、昨日アップした採集地図に、前回調査でタンポポが採集されていて今回未調査のメッシュを青く表示させました。

<https://makinodatabase.jp/surveyteam/%e3%82%bf%e3%83%b3%e3%83%9d%e3%83%9d%e6%8e%a1%e9%9b%86%e5%9c%b0%e5%9b%b3%e6%9b%b4%e6%96%b0%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f/>

写真は牧野植物園五台山ロビーで展示しているツクシタンポポです。  
陽が当たらず、元気がなくなってきたので、今日撤収予定です。



No.123 高知県事務局田邊 2025年5月21日 12:00 ...

青メッシュを狙って、青メッシュを念入りに探し  
(&オレンジでも黄花未採集ならそれも狙い)

とても参考になります、地図更新ありがとうございます。

No.124 MIYAJI 2025年5月21日 13:10 ...

返信 (1)

## タンポポ調査採集済み地図更新しました

タンポポ調査にご協力いただいている皆様、いつもありがとうございます。

調査期間は残り2週間をきり、今週は気温があがって、初夏の気配を感じますね。

季節が変わり、いよいよタンポポの花も終わりとなりますが、

事務局の最後の悪あがき？として、昨日(5/19)までにサンプル整理・入力をされているデータをもとに、タンポポ調査特設サイトで採集地図を更新しました。

今はほぼ外来タンポポしか咲いていませんが、採集されていない地域(メッシュ)の穴埋め調査をお願いします！

道路沿い、特に人家がある周辺はタンポポがある可能性が高いので、そこを狙い目です。

前回調査と比較できるデータを集めたいので、皆様のご協力、よろしく願いいたします！

<https://makinodatabase.jp/surveyteam/%e3%82%bf%e3%83%b3%e3%83%9d%e3%83%9d%e6%8e%a1%e9%9b%86%e5%9c%b0%e5%9b%b3%e6%9c%80%e6%96%b0%e7%89%88/>

No.122 高知県事務局田邊 2025年5月20日 14:05 ...

## クシバタンポポ その5

クシバタンポポ最終回です。

5月10日大豊町の調査を行いました。キビシロタンポポもありますが、この日はクシバタンポポを中心にした調査です。事務局の田邊さんに生育地の情報を引き継ぐ意味もかねて、一緒に調査しました。

大豊町のクシバタンポポの生育地で最も標高の高いのは京柱峠すぐ下の公園入口です。標高は1075mあります。

ここもシカの食害を受けているのですが、この日はシカでなくて人の手で刈り取られていました。直前に刈り取られたと見えて、サンプルとしての価値を失っていませんでした。

香美市物部町に比べ大豊町は人口流出に伴う環境の変化がやや緩慢で、この日の調査地区で生育が確認できなかったところはありませんでした。

写真は刈り取られたクシバタンポポ。頭花は散らばっていましたが、元の株の位置に集めて写真を撮りました。



No.121 さかもと 2025年5月12日 16:09 ...

## クシバタンポポ その4

今回のタンポポ調査も大詰めになりました。

5月5日は香美市物部町の調査を行いました。

上葦生川方面と横山川方面それぞれの最奥の生育地の調査です。

上葦生川の笹方面は別の方に調査お願いしてありましたので、久保方面の調査をしました。最奥地は久保和久保です。ここでは非住家となったお家の庭に2株確認できました。住んではないが、休みの日には管理のために通っているそうです。

残念なことに大西分岐と堂の岡（お堂前の県道と安野尾口バス停）、久保沼井（ぬるい）では、確認できませんでした。

横山川側は別府峡の竜頭山登山口（標高625m）が最終地です。

シカの食害がひどく、ガードレール下の個体のみが花を1個つけていました。

物部町のクシバタンポポは人口流出に伴う環境の変化に加え、シカの食害で危機的な状況に置かれていることを痛感しました。

写真はガードレールの下で食害を受けずに開花したクシバタンポポです。サンプルは採集せずに、写真を証拠としました。



返信

### 大洲城のタンポポ

大洲城のタンポポです。在来種そう言えば総苞型外来種？かな。なんだか、そよ！っと生えています。大月町の70cmを越えるシロバナのオラオラ感が違う。宿毛の在来総苞型？もこんな感じです。宿毛は、文化的に愛媛と交流が大きかったからかも。



No.116 くろしお ノム 2025年5月5日 09:23 ...

大洲城のタンポポ。こんな写真のタイプのようなタンポポもありました。



No.119 くろしお ノム 2025年5月7日 21:04 ...

さかもと様、忙しい折りに、貴重な知見をありがとうございます。

大洲城のタンポポについて、侵入可能な場所について、出来る限り調べてみました。中には、いくつかセイヨウタンポポのように総苞が反り返ったタンポポもありました。その為在来総苞型と思ったのですが。沖の島タンポポと同封した宿毛のよしなで採集したタンポポもなんか似ているような気がしました。ありがとうございました。

No.118 くろしお ノム 2025年5月7日 20:24 ...

ノムさん、大洲城のタンポポの提供ありがとうございました。

本来なら、藤川さんからコメントをいただくべきですが、お忙しい様子なので私が代わってコメントします。

大洲城を中心に大洲市に分布するタンポポは「謎のタンポポ」で、タンポポ調査西日本2010以前はツクシタンポポ、タンポポ調査2010では「オオズタンポポ（仮称）」とされていました。

タンポポ調査2010以降、高知大学・大学院学生の和食敦子さん、愛知教育大学の渡辺幹夫教授などによる形態的な観察、遺伝子解析に

よりトウカイトンポポであることが分かりました。併せて、鳥取の米子城周辺にも同じ形態のタンポポが分布しており、大洲城城主の加藤貞泰（さだやす）が、岐阜から米子、大洲と国替えをしたことに伴って、分布が移ったものと考えられるにいたりました。西日本全体でタンポポば調査を行った成果の一つだと考えております。

トウカイトンポポの県内のもう一つの分布地である旧窪川町の集団は、大洲のものとは形態が異なり、遺伝子解析の結果でもトウカイトンポポとカンサイタンポポの中間的なタンポポで、セイタカタンポポではないかと考えられています。こちらの分布域は狭く、近年に持ち込まれたものと考えられますが、その由来はつかめておりません。

国替え説に関する新聞記事を添付しておきます。



No.117 さかもと 2025年5月6日 17:12 ...

返信 (3)

次のページ >



合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)
[新規投稿](#)
[検索](#)
[画像一覧](#)
[使い方](#)
[設定](#)

### クシバタンポポ その3

先月29日に、大豊町杖立山の麓を、時計回りにほぼ3/4周しました。地名で言いますと、北川、久寿軒、中村大王、穴内、庵谷になります。

狙いはクシバタンポポですが、その他のタンポポも最低1メッシュで1サンプルの確認が必要ですので、結構時間を要しました。クシバタンポポの確認状況は次のとおりでした。

北川 杖立山登山口西方の三差路近くの林道路肩で6株 (M5033-45-86)

久寿軒 シロバナタンポポ、セイヨウタンポポはありましたが、クシバタンポポは今回も見つかりませんでした。

中村大王 今回も見つかりませんでした。ちょうど穴内川が四国山地を横切る場所で、地形が急峻なことが関係しているのかなとも思いますが、よくわかりません。

穴内 これまで3か所の生育地が確認されていましたが、今回は1か所のみでした。(M5033-55-15)

その1か所は松岡さんという方のお家で、庭を中心に20株ほどが確認されました。前回調査の際も訪問していて、子どもさんに在来タンポポとセイヨウタンポポの違いを説明させていただいたことを覚えていてくれました。前は小学生だった子どもさんも、中学生になったとかで、5年の経過を感じました。

庵谷 4か所で確認でき、その内3か所は新たに確認できた場所でした。前回確認していて今回確認できなかった場所が1か所あります。いずれもメッシュ番号は5033-55-27です。生育場所は道路の舗装面と路肩で、このような環境の場所は結構変動があると感じました。

写真は松岡さんの庭に咲くクシバタンポポ



No.115 さかもと 2025年5月2日 11:16 ...

[返信](#)

### クシバタンポポ その2

25日に香美市槇山川流域(大柝から別府方面)のクシバタンポポの調査を行いました。

調査した個所は12か所、そのうち6か所は確認できませんでした。前回調査(2020年調査)の際「次回は難しいかな??」と考えていた場所ですが、6/12も確認できなかったのは衝撃でした。

一方、新たに確認できた場所もありました。別府峡の左岸側駐車場で、セイヨウタンポポが咲いている中を丁寧に探すと2株だけ、クシバタンポポがありました。

(確認できた場所)

大柝梶ヶ谷 (M5033-47-52)、別府土居 (M5034-50-13)、別府米野 (集落 M5034-50-22)、別府別府峡 (M5034-50-22)、別府(別府-光石林道 M5034-50-31 未開花のため要再調査)、別府別府峡 (M5034-50-22)

(確認できなかった場所)

岡ノ内西谷 (M5033-47-75)、仙頭中平 (5033-47-46)、別役津々呂 (M5033-47-87)、別府秋田 (5034-50-12)、別府米野(別府峡への道路わき耕作放棄地 M5034-50-22)、別府奈路(谷沿いの事業所庭 M5034-50-12)

写真は別府土居の国道195号路肩に咲くクシバタンポポです



No.114 さかもと 2025年4月27日 13:04 ...

返信

### サンプルたくさん届いています！

みなさま、タンポポ調査にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

2月はサンプルがほとんど届かず、今回の本調査はサンプル数が少ないかな、、、と思っていましたが、

3月下旬から徐々に増え始め、今や事務所前のタンポポ受けBOXの前を通るたびに、サンプルが届いている状態です！

週2日、アルバイトさんにサンプル整理とデータ入力を手伝ってもらっていますが、全然処理が追いついていません。。。

皆様には調査の進捗状況の最新をアップできず、ご不便をおかけしています。

調査終了まで残り1ヶ月ちょっとですが、引き続きご協力よろしくお願いたします！



No.113 高知県事務局田邊 2025年4月24日 16:06 ...

返信

### クシバタンポポ

安芸市から土佐町にかけての山間部に分布するタンポポです。山村の人口流出に伴う環境の変化で絶滅が危惧されています。

香美市のクシバタンポポの調査に入りました。

前回確認した位置情報と記憶を頼りに、メッシュにこだわらず全生育地を調査し、おおよその個体数を確認するという方針で調査にあたっています。

昨日は既知の9か所の生育地を調査し、7か所で現存を確認、2か所は確認できませんでした。

行く先々で廃屋が増えており、厳しい状況になっていることを痛感しました。

なお、調査した生育地は次のとおりです。物部地区に調査に入られる方は、重複を避け、未調査の場所を調査していただけるとありがたいです。

香北町西川久保川 (M5033-36-64)、物部町頓定 (M5033-46-19) 物部町山崎神社の前 (M5033-46-19)、物部町押谷佐岡 (M5033-47-42)、物部町仙頭宇筒舞 (M5033-47-22)、物部町押谷 (M5033-47-52 広範囲に分布) 物部町根木屋 (M5033-47-53)

物部町山崎影山崎 (5033-47-33) 物部町仙頭則友 (5033-47-33) この2か所は生育を確認できませんでした。

写真は宇筒舞の道路の石垣に2株生えるうちの1株。何とか消滅せずにいました。



No.112 さかもと 2025年4月23日 21:39 ...

[返信](#)

### 昼間から眠るカンサイタンポポ

土佐市高岡町の仁淀川右岸のカンサイタンポポ分布域を確認するために、分布の西端の個体を確認しようとした。ところが、堤防へ行ってみると、花が全然見えません。まだ花期が終わっているはずはないし・・・と思い、草むらへ入って詳しく見ると、すでに完全に花を閉じてお休みになっておられました。まだ2時にはなっていません。今日は特に暑かったので、早寝をしたのでしょうか？働き方改革の先陣を務めている花ですね。



No.111 さかもと 2025年4月21日 22:39 ...

[返信](#)

[次のページ >](#)

[<](#) [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [>](#)

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

## タンポポ調査・2025 高知県

ホーム

新規投稿

検索

画像一覧

使い方

設定

## なぜタンポポの花茎は、グンと伸びるのか狭く浅く考えてみた

タンポポの花茎を折ると白い乳液が出てきます。白のは、天然ゴムの成分が含まれているからだそうです。

タンポポを調査していると、花が終わり種になると花茎がグンと伸びるのが分かります。先日行った大月町のタンポポの花茎は70cmくらい伸びていました。

種になると花茎が伸びるのは、風を多く受け遠くに飛ばしたいからでしょう。

では、どんな仕組みで伸ばすことができるのか？一つは、気温と関係があるのではないかと考えました。なぜなら、気温が高くなると花茎が高くなる傾向が見られるからです。また、天然ゴムの成分ということから、温めると柔らかくなり伸びるのではないのでしょうか。蝶などが羽化した時、羽に体液が管を通して羽を伸ばして行くのにも似ています。また、花茎は空洞なので、タケノコのように伸ばしやすいのではないのでしょうか。二つめは、水分です。乾燥した場所が好きようなタンポポですが、雨の翌日は、グンと伸びてきます。狭く浅く調べてみましたが、私の知りたいことについて載ってなかったので勝手に考えました。



No.109 くろしお ノム 2025年4月12日 09:41 ...

タンポポに関する疑問について、いろいろ考えてみるのは楽しいですね。考えた結果について、正しい答えかどうかを確認してみることも必要だと思います。

そんなのに最もピッタリのHPがあります。日本植物整理学会のみんなの広場、植物Q&Aです。

ピッタリではありませんが、どのような仕組みで茎が寝たり、伸びたりするのかという疑問に対する答えです。

[https://jspp.org/hiroba/q\\_and\\_a/detail.html?id=3156](https://jspp.org/hiroba/q_and_a/detail.html?id=3156)

答えが専門的で、そのうえ少しはしょられていて、分かりにくいです。

講談社の文庫版BLUE BACKS「植物の謎」(本体1000円 税別)には図入りで詳しく書かれています。

なお、「なんのために茎をのばすか？」については「難しく答えることができません」とありました。

No.110 さかもと 2025年4月16日 10:28 ...

返信 (1)

## お花畑

昨日、日高村の休耕畑で見たタンポポのお花畑です。

タンポポは、栽培してみると結構難しいですが、自然のままではこのようなお花畑を作るのですね。

シロバナタンポポとセイヨウタンポポの対比も面白かったです。



No.108 さかもと 2025年4月4日 09:45 ...

返信

### あなたは、キバナシロタンポポ？ それともシロバナタンポポ？

4月3日、大月町方面を県道321号沿いに調査しました。すると宿毛の海浜公園？辺りから、太平洋に行きあたるまで、ずっとシロバナのオンパレード！です。セイヨウタンポポも少しありましたが。

黒潮町で20本以上生えている所を見たのは、私の住む田野浦と上川口、そして上田の口の三ヶ所だけです。

ところがどうでしょう。県道321号沿いにずっと生えています。なぜ？

帰るために反対車線の取り残しを調査し、最後の群落でキバナシロタンポポを見つけました。ふと目を横に移すと、花の半分が白で、半分が黄色のタンポポがあるではありませんか！うーん、あなたは、キバナシロタンポポ？それともシロバナタンポポ？(写真を撮ったのですがきれいに半分に分かれて写っていませんでした。標本としては採集しています。)



No.106 くろしお ノム 2025年4月3日 16:28 ...

くろしおノムさん。みつかりましたか！ラッキーですね。

このタンポポはNo.100で書きましたが、小泉秀雄はこれをシロバナタンポポの品種 form semialbum H. Koiodzumi ハンシロタンポポとして記載しています。

ただ、一般には品種として認められていないようです。

No.107 さかもと 2025年4月3日 17:31 ...

返信 (1)

### 越知町越知のキバナシロタンポポ集団

今日は寒かったですね。

花見に繰り出す人たちを横目に、越知町の大桐川沿いを調査してきました。実は、別の植物の調査もあって、この地域にしたのですが、残念ながらそちらの方はまだ花をつけていませんでした。

越知のキバナシロタンポポ集団は分布域も広く、個々に見ると消長も激しく、2020年調査では集団の全体像をつかめていませんでした。

今回もまだきちんとした調査は出来ていませんが、これまで確認できていなかった大桐川右岸側で20株ほど確認できました。

分布域が川を跨いでいたとは想定していませんでしたので、少々驚きました。

2015年調査ではきちんとした踏査調査をしていますので、その結果に今回新たに見つかった場所を地図に落してみました。赤丸が2015年調査で確認した場所、緑の丸が新たに確認できた場所です。

機会があれば越知のキバナシロタンポポ集団を見てください。全国でもまれなキバナシロタンポポ集団です。



No.105 さかもと 2025年3月30日 23:08 ...

[返信](#)

### 今年のシロバナタンポポは豊作か？

3月初めまで、今年はタンポポが出ない、と嘆いていました。が、下旬近くになり、一雨ごとにドカッと生えて来ました。しかも、昨年、全く生えていなかった場所まで20輪以上咲いている場所もあります。なんでもかな。我が家から四万十市中村まで、そんな感じです。おもしろいなあ。

※昨年採集した場所のタンポポは、採集していませんが、採集した方がいいのですか？

No.103 くろしお ノム 2025年3月28日 08:41 ...

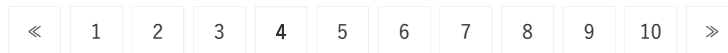
今年のシロバナタンポポは「イッキ咲です」。

昨年と同じ場所（環境）のものは採集する必要はないですが、昨年と違った環境に生えている場合は、採集してください。

No.104 さかもと 2025年3月28日 21:40 ...

[返信 \(1\)](#)

[次のページ >](#)



合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

## タンポポは人の足音を感知できるか？

10年ほど前になりましたが、土佐市新居の新居小学校のグラウンドに集団で生えているキバナシロタンポポを2か年に渡って調査したことがあります。

その時驚いたのが、小学校が春休みになると一斉に開花したことです。当時は児童数も多く、グラウンドで遊びまわる児童はタンポポにとっては脅威だったのに違いありません。児童の足音が賑やかなうちはじっとして、足音が聞こえなくなると一斉に花茎を伸ばして開花する・・・といったことをイメージしてみました。タンポポは人の足音を感知する能力があると考えてみました。

その時に採取した種から発芽させたキバナシロタンポポを、自宅で栽培しています。当初は鉢で育てていましたが、数年で地植えにしています。個体数はあまり増えないものの、数株が世代を代えて生き続けています。

そのタンポポが今日開花しました。

児童の足音とは関係なく、この時期に咲くようにプログラムされているタンポポだったようで、感知能力の話も単なる空想にすぎませんでした。



No.102 さかもと 2025年3月24日 22:57 ...

[返信](#)

## ハンシロタンポポ

今日は香美市香北町から物部町にかけて調査してきました。

香北町猪野々ではクシバタンポポをやっとのことで見つけることができました。例年より開花が遅れているため、見つかりにくかったようです。消えてしまったのかと心配した後に、見つけて安心しました。

その途中で見つけたのが、頭花の半分が白く半分が黄色いシロバナタンポポです。

小泉秀雄はこれをシロバナタンポポの品種 form semialbum H. Koiodzumi ハンシロタンポポとして記載しました。

1シーズンに1個見つかるか見つからないかレベルのレアな代物です。頭花の半分が白になることは、固定していないようです。



No.100 さかもと 2025年3月23日 23:00 ...

説明不足でした。

写真に2個の頭花が写っていますが、上の頭花は通常の白ばかりのものです。中心部が黄色がかって見えますが、舌状花はすべて白です。

下の頭花の1/2の舌状花が黄色です。

No.101 さかもと 2025年3月23日 23:06 ...

返信 (1)

### キバナシロタンポポ

昨日、須崎市浦ノ内湾沿岸の集落を調査しました。

運よく、立目摺木と西分の2か所でキバナシロタンポポを見つけることができました。

今夜、写真の整理をしているところですが、再生してみると、立目摺木で採取したものはほぼ見た目どおりですが、西分で採取したものは、見た目と全く異なっています。

この投稿フォームは1投稿に1枚しか投稿できませんので、2回に分けて投稿します。

最初は立目摺木で写したものです。明るい開けたところでの撮影です。



No.94 さかもと 2025年3月18日 22:18 ...

浦ノ内の塩間から横浪にかけては果樹園（ボンカン？）が多いことから、県道から奥へ入ってみました。

果樹園に囲まれた休耕地があり、そこがタンポポ畑のようになっていました。たくさんのシロバナタンポポの中に1株だけ黄色いタンポポがあり、確認するとキバナシロタンポポでした。宮地さんおっしゃるように、キバナシロタンポポにしては黄色が強い個体ですね。同じ株？（多分）から白い頭花を付けた茎が立ち上がりかけでしたので、全部が黄色でなくて頭花の白いものと黄色いものが混じるタイプのキバナシロタンポポですね。

No.95は道路の法面に2株咲いていました。

No.99 さかもと 2025年3月19日 15:50 ...

3月8日に浦ノ内湾北岸の県道23号を通りシロバナタンポポは採集したのですが

キバナシロタンポポには気づきませんでした。

（県道23号沿いでなく、脇・集落に入る？）

No.94の写真は本当に黄色いですね、白花が咲いてなければ、黄花のタンポポと間違えそうですね。

西分のキバナシロタンポポを横から写したものです。  
背景は同じくバイクのシートです。



No.97 さかもと 2025年3月18日 22:35 ...

立目摺木のキバナシロタンポポを横から写したものです。  
背景は、バイクのシートです。



No.96 さかもと 2025年3月18日 22:32 ...

こちらは浦ノ内西分で撮影したものです。  
生えていたのが影地で午後3時を過ぎて撮影したせいでしょうか、黄色が発色してなくて、シロバナタンポポのように見えます。  
撮影したのは、二つともスマホです。  
見た目にはほぼ同じ黄色でしたが、これほど違います。  
カメラが正確でないのか、人間の眼が騙されているのか・・・



No.95 さかもと 2025年3月18日 22:26 ...

## 田邊さん、サカモトさん返信ありがとうございました

龍馬空港の黄花タンポポについての疑問が解けました。ありがとうございました。

タンポポ調査2年目の私にとって、タンポポのなぜなぜはまだあります。花茎の白い液?のなぜ?。シロバナタンポポの起源、など。また、よろしく願いいたします。

No.93 くろしお ノム 2025年3月16日 10:38 ...

[返信](#)

## 故郷のシロバナタンポポ

今日はお彼岸を前に、お墓掃除に行ってきました。

お墓があるのは、安芸市入河内（にゅうがうち）。

ちょっと読みにくい地名ですが、「入」は「丹生」、水銀の採掘と精錬に携わる職能集団丹生氏（にうし）が古代のころ入植した土地の一つとされる、由緒ある場所です。

残念なことに、人口流出が著しく小学校も中学校もなくなってしまい、休耕畑が多く見られる、過疎の集落になっています。

そんな集落の休耕畑にもシロバナタンポポが元気よく咲いていました。

（高知新聞に掲載されていた地名往來を参考に書きました）



No.92 さかもと 2025年3月14日 22:38 ...

[返信](#)

[次のページ >](#)

« 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 »

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

## 在来種？黄花タンポポ

2024年、5月。龍馬空港前、駐車場、駐車料金精算所付近。在来種らしい黄花タンポポがありました。5月だったので採集しませんでした。が、あれが在来種なのか、セイヨウなのか気になっています。空港側歩道の芝生にありました。龍馬空港を含め一帯は、弥生時代の規模の大きな遺跡跡です。古代から集落があるので、在来種であっても不思議ではないなあ、と思っています。

No.88 [くろしお ノム](#) 2025年3月13日 15:27 ...

高知大学農学部、高知空港周辺は2010年調査からみてきました。  
当時から農学部構内、東の物部川堤防、高知空港周辺にはカンサイタンポポが見られました。  
堤防のものは、大学から風散布で広がったものと推測しました。  
その他に、空港の南には土砂の移動に伴って広がったと思われる生育地もありました。  
農学部のものがどこから来たかは、分からないままです。

No.91 [さかもと](#) 2025年3月13日 17:41 ...

すみません。

写真が添付されていませんでした。

No.90 [高知県事務局田邊](#) 2025年3月13日 16:07 ...

投稿ありがとうございます。

空港の在来種っぽいタンポポは、カンサイタンポポだと思います（添付写真）。  
自生ではなく、おそらく造成したときに入ってきたものだと思います。

No.89 [高知県事務局田邊](#) 2025年3月13日 16:05 ...[返信 \(3\)](#)

## タンポポ咲く

3月12日。タンポポが一気に咲き始めました。

No.86 [くろしお ノム](#) 2025年3月12日 12:51 ...

ノムさん

本当に一斉に咲きだしましたね。

高知市も昼から天気が回復したので、少し調査に回りました。

1週間前とはすっかり様子が変わって、シロバナタンポポも花盛りでした。

これくらい咲いてくれると、探すのも楽ですし、調査もはかどります。



No.87 さかもと 2025年3月12日 23:09 ...

返信 (1)

#### タンポポ調査HPにて2024年タンポポ採集地図を順次掲載中

早いもので、2月も今日で終わりとなりました。

今日までに事務局に届いたサンプルは33サンプル（確認中3サンプル含む）でした。

昨年の2月調査では、658サンプルだったので、今年のタンポポの少なさはきわだっています。。

調査に役立てていただけるよう、タンポポ調査特設サイトでは、2024年調査で採集されたタンポポのメッシュ地図を、地域毎に順次公開してまいりますので、是非調査でご活用ください！



No.84 高知県事務局田邊 2025年2月28日 18:35 ...

出遅れましたが、私の2025年第1号サンプルです。

分類学セミナーの帰り、国道道路横の植樹帯に咲いていました。

朝から雨が降ったりやんだりでしたが、ちょうど雨が上がり薄日が差す温かいお昼時でした。

総苞外片は、内片にくっつき、角状突起も大きい、早春タイプのものでした。



No.85 さかもと 2025年3月2日 22:25 ...

返信 (1)

### 春は名のみの・・・

昨日はお天気も良く、気温が上がりそうだったのでタンポポ調査に出かけました。

自宅周りでは、あまり見かけないので海岸に近い土佐市新居、宇佐方面に出かけたものの、全くの空振りでした。

海岸近くから県境の山々が見えたのですが、山の頂には白い雪をかぶっていて、例年になく季節の進行が遅いと感じられました。

「春は名のみの・・・」や「緑なす繁葉は萌えず 若草もしくによしなし・・・」といったフレーズが浮かんできました。

タンポポの本格的な開花はまだ先になりそうです。

土佐市新居の新居小学校付近は、キバナシロタンポポが集団で生育することが全国で初めて確認された場所です。

そこが現在どのような状況か気になって確認してきました。かつて、学校の畑とその入り口としてよく管理されていたタンポポの生育地

は、草ぼうぼうで、タンポポが生えるような環境ではありませんでした。生育地が消えないか、ちょっと心配です。



No.81 さかもと 2025年2月12日 13:53 ...

8日：～室戸市国道55号沿線、今回もタンポポ見ず。(ドライブ目的が「サバらしい日々」だからタンポポ無くてもOK)

11日：中土佐町の久礼川・上ノ加江川周辺タンポポ見ず。帰りは土佐市～浦ノ内湾へ。

戸波浦集会所過ぎた辺りにタンポポ十数株発見も、花無し・タネ(黄土色、昨年末から開花続いていたセイヨウタンポポ?)のみ。浦ノ内中学校近くでやっとシロバナ数株開花を見つけ1サンプル採集。

今咲いているのはアプラナ・タネツケバナ・ホトケノザ・オオイヌノフグリくらいで、コショウノキはまだ蕾。開花期は昨年より半月位遅れている気がします。

No.83 MIYAJI 2025年2月13日 07:24 ...

2012年はこんな状況でした。児童数も減り、当然父兄の数も少なく、管理されなくなったものと推測されます。



No.82 さかもと 2025年2月12日 13:57 ...

返信 (2)

### ウォーミングアップ

昨年はスタートが遅れたので、今年はスタートダッシュを決めようと考えていました。

ところが、1日・2日はお天気が悪く、その後、立春寒波が居座るとのことで、出鼻をくじかれそうです。

近くにある果樹試験場へ様子を見に行ってきました。ここは果樹園で環境も良く、比較的早期にシロバナタンポポが見られる場所です。例年どおり咲いていました。

全体的には、少し遅れ気味でしょうか？



No.78 さかもと 2025年1月31日 21:01 ...

タンポポ見かけませんね、確かに遅れ気味かもしれませんね。  
高知市～室戸市の運転中から見る国道55号沿線と降車した数か所では全く見かけませんでした。  
中土佐町久礼でやっとシロバナに出会えました（タネもあり）。

No.80 MIYAJI 2025年2月5日 12:26 ...

今日見たシロバナタンポポの総苞外片です。  
ちょっとシロバナタンポポらしくない形態をしています。  
以前にも書きましたが、開花の初めころにはこのような形態のシロバナタンポポが多いとみています。  
時期的に、どのような変化をするか調べる必要があると考えてはいるのですが、最盛期になると数多く調査する必要があり、なかなか時間が取れません。



No.79 さかもと 2025年1月31日 21:07 ...

返信 (2)

次のページ >

< 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 >

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)
[新規投稿](#)
[検索](#)
[画像一覧](#)
[使い方](#)
[設定](#)

### 本調査が明日から始まります！

昨年の予備調査では多くの方々にご協力いただき、ありがとうございました。

明日から始まる本調査でも、多くの県民の皆様、タンポポに興味を持ち、調査に参加していただけるよう、頑張ってPR活動をしていこうと思います。

牧野植物園調査ボランティアの皆様には、先日、調査をしていただきたいメッシュ地図と調査封筒をセットにした調査資料を送付させていただきました。前回（2020）調査と比較できるデータ（サンプル）が集まるよう、ご協力よろしくお願いたします。

また、現在、大月町北部、宿毛市南部、旧西土佐村の調査をしてくださる方を募集しています。

調査にご協力いただける方には、メッシュ地図（添付画像のイメージです）を送付させていただきますので、事務局までご連絡ください。

今年はタンポポの開花が遅いような気がしますが、暖かい日には、お散歩がてら、タンポポを探してみてください。



No.77 高知県事務局田邊 2025年1月31日 19:57 ...

[返信](#)

### タンポポ調査ニュースレターを発行しました

皆様、お久しぶりです。事務局の田邊です。

ようやく冬らしい寒さになり、今年も早、1ヶ月を切りました。

来年2月からの本調査が近づき、事務局では、徐々に本調査に向けての準備を進めているところです。

遅くなりましたが、予備調査の結果を簡単にまとめたニュースレターを発行し、タンポポの特設サイトに掲載しましたので、ご覧ください。

<https://makinodatabase.jp/surveyteam/%e3%82%bf%e3%83%b3%e3%83%9d%e3%83%9d%e8%aa%bf%e6%9f%bb%e3%83%bb2025%e9%ab%98%e7%9f%a5%e7%9c%8c%e3%83%8b%e3%83%a5%e3%83%bc%e3%82%b9%e3%83%ac%e3%82%bf%e3%83%bcno-1%e3%82%92%e7%99%ba%e8%a1%8c%e3%81%97/>

ご希望の方には、印刷したものをお送りしますので、事務局 ([tanpopo\\_kochi@makino.or.jp](mailto:tanpopo_kochi@makino.or.jp))までご連絡ください。

それでは、少し早いですが、良い年をお過ごしください！



No.76 高知県事務局田邊 2024年12月4日 18:06 ...



も、ヤマザトにしても未だ確認されていない在来タンポポです。これは行かなければならぬと、雨が続いた先週やっと晴れた4月25日に、藤井さんが記録してくれた緯度経度と地図をもち、仁淀川町のタンポポ先生こと、信野さんをお誘いし、現場へ向かいました。

#### 〈調査結果〉3地点でキビシロ！を確認

仁淀川町のタンポポサロンの一つ喫茶まるはちにてスパイスカレーを食べ、12:30にスタート。早速現場周辺上名野川に向かいました。最初に車を止めたところでは確認できず、さらに車を進めると、すると車道沿いに「ど根性キビシロ」を発見（写真をご確認ください）。車を降りて車道沿いを探索すると5株ほど、花茎があがっていたキビシロを確認することができました。いわゆるタネ（果実）は一つもなく花のみでしたが、以前愛媛県で確認したキビシロと同じスレンダーで背が高い容姿をもつキビシロタンポポです。その後、集落を探索し、車道沿いだけではなく、集落内の小径にもキビシロが生えていることがわかりました。信野さんがしっかりと生育地を確認、今回の調査ではタネを確認することができなかったため、タネが出来たときに再調査を依頼しました。

#### 〈課題〉まだまだ見つかる可能性が！

梶原町と大豊町のみで確認されていたキビシロタンポポ。前回2020年調査で梶原町が新産となり、今回の調査により仁淀川町で新たに発見されました。

課題1) 本種は高知県のレッドデータブックで絶滅危惧II類（VU）に指定されており、今回一番個体数が多く確認された1地点（20株ほど）は管理放棄された小径。継続したモニタリング調査が望まれます。

課題2) キビシロとヤマザトの関係は微妙。いわゆる分類学的には、淡い黄色の個体の色味の個体をどのように判断して同定するか。大豊町のキビシロと比較するとその印象からするとスレンダー。これまで確認されている梶原町のキビシロとヤマザトタンポポと比較していきます。加えて、シロバナと同定していた中に、キビシロが入っていないか、角状突起や総苞片の縁の赤色、タネの色など、しっかり見て同定していかなければと、改めて思いました。

#### 課題3) まだ未踏査の地点にも

仁淀川町の里山にキビシロが確認されたことから、大豊町から梶原のエリアの人里や山里に、キビシロやヤマザトタンポポが、見出される可能性が。愛媛県久万高原町にはキビシロが点在すること。県内中山間地域（200～）400～800（～1100）mくらいの集落の道路沿いや石垣など、これからの季節に皆さんもちょっと淡い色のタンポポを探してみてください。

引き続き、宜しくお願いします。



No.71 事務局ふじかわ 2024年4月27日 21:02 ...

上名野川のキビシロタンポポ見えました。

奥谷集落の3か所で確認できました。株数は花をつけたものが22株、花を付けない小さな株は開花株の半数程度でした。

3か所はあまり関係なさそうな位置でしたが、帰ってきて古い地図を見て納得。現在のような車道ができる前に、集落内・外を結ぶ主要な道路（1/50, 000の地形図に点線で図示されている道路）沿いでした。かつては、人の利用の多い道路沿いに生えていたものと推測されます。

このキビシロタンポポは藤川さん指摘のとおり、スレンダーな姿かたちで、梶原のものによく似ています。

比較のため、大豊のキビシロタンポポと並べてみました。



仁淀川町上名野川 2024年4月28日

大豊町川口 2024年4月14日

No.73 AKR1948 2024年5月2日 22:08 ...

次のページ >

<< 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 >>

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

## 15年ぶりの再会「東洋町のカンサイタンポポ」

皆さん こんにちは 事務局ふじかわです。県東部ネタが少ないとのことで、東洋町でのタンポポ話の一つ。

高知県が初めてタンポポ調査西日本に参加した2010年タンポポ調査。その当時修論卒論指導をしていた高知大学修士学生1名、卒論生2名とともに車に自転車を載せて東洋町へ向かい、タンポポ調査を行いました。東洋町に着き、3人の元気な学生の自転車チームは野根や甲浦の平地を調査、こちらは車で一人県道101号をひたすら走り、徳島県境に近い高知県側の真砂瀬（まさごせ）へ。この真砂瀬で、出逢った集落の方々に怪しいものではないことを「タンポポ調査で〜す!」と伝え、うろちょろ一人歩きしながらある方のお家の庭で“カンサイタンポポ”を発見!。この時には野根小学校脇の田んぼの畦でも、カンサイタンポポを確認することができました。

それから、約15年。真砂瀬へ。4月15日（月）に室戸で特定外来生物「ナルトサワギク」の防除を午前中に終え、タンポポ調査実行委員の魚澤さん、事務局田邊さん、冨本さんと向かいました。記憶を探り、カンサイタンポポを確認したお家へ。すると、華奢な株ですが9株を確認することができました。この日は、魚澤さんと田邊さんが前回調査で確認していた野根の草むらに生育していたカンサイタンポポの株も確認。再び出逢えたカンサイタンポポに感激!!しました。一方で、小学校近くの株は、無くなっており……。これだけが要因ではないと考えられますが、染色体数が二倍体のカンサイタンポポは有性生殖をするため、ある程度の個体数がないと結実する確率も低くなり、個体数が減少または無くなってしまうようです。

タンポポ調査の楽しみの一つは5年ごとの再会。ヤマザト、キビシロ、クシバやツクシタンポポといった在来タンポポの調査は絶滅危惧種のモニタリング調査ともいえます。また、里地里山の環境の変化、人とともに生きる在来タンポポにとって、これも観察ポイント。前回はお家に人がいたのに、今はだれも暮らしていないような? この生垣周辺は草ボウボウになっていて管理放棄されたのかも? お家の人がいれば、「これは数が少なくなってきた貴重なタンポポですよ」、「タンポポのタネが飛んだあとに草刈りしてくださいね」など一声かけてみてください。もしかするとタンポポ調査のスピノフとして、高知の集落の状況も実態が明らかになるかもしれません。

No.72 事務局ふじかわ 2024年5月2日 18:53 ...

[返信](#)

## 四万十メッシュでヤマザトタンポポ見られず。

こんにちは。

ヤマザトタンポポに関心を持つあまり最近頭の中がヤマザトタンポポ一色になっている気がします。

今日はいの町の個体群と比較するために四万十のメッシュを探索してきました。

四万十メッシュでは2020年に複数の方がヤマザトとして記録なさっており、メッシュの位置と「車道沿い」という条件から探索範囲は相当に絞れますから、これも確実に観られるだろうと思っておりました。

ただ、そういう楽観的な姿勢は殊ヤマザトタンポポにおいては裏切られるものようです。

メッシュ内のすべての車道を行ったつもりですが、とうとうヤマザトタンポポは見られませんでした。

周囲のメッシュでは2020年の調査でキバナシロタンポポが記録されており、これも期待しましたがシロバナタンポポばかりでした。

キバナシロタンポポが白花に混じって時たま黄色の花を付けるものだとすると、シロバナタンポポの盛りを過ぎたこの時期に探すのは悪手ですね。

この辺りのメッシュは既に今年の調査でサンプリングされていますが、それでもヤマザトは上がってきていないようです。

帰りに今年2月にキバナシロタンポポが採取されている七子峠にも寄ってみました。観たのはシロバナタンポポだけです。

ヤマザトタンポポは山陰では普通と聞きますが、高知ではなぜこんなにも少ないのか不思議です。

最後5月に檜原の個体群を捜しに行ったら今年はおしまいかと思っております。

No.67 やまなこうへい 2024年4月22日 22:45 ...

昨日のHPの更新で整理番号3944191のヤマザトタンポポのサンプルがアップされていました。

四万十金上野のヤマザトタンポポは健在のようです。

探しているつもりでも見落とすものだと自覚できました・・・。

AKR1948 様、こんばんは！

この法面に局在していたのですね。

次行く際にしっかりチェックしておきます。

金上野近傍の峯の上のメッシュは、このメッシュに掛かる車道自体がほぼ1本であるためまず見落としは無かったと思います。

周囲が何となく最近綺麗に整備された雰囲気がありました。

たんぼぼが精力的に記載された1930年代の当時からだいたい90年が経ち、当時の記録にまで遡ることがどんどん難しくなる一方ですが、ポジティブに考えると今が最後のチャンスなのかなと考えています。

戦後の拡大造林で一気に環境が変わり、それを経てなお残ったかつての環境を維持してくださっている農林業従事者も、もう10年もすればいよいよ現役ではいられなくなるはずですよ。

特にたんぼぼのように人の暮らしと関係の深い植物を観るのは今のうちだという思いが、今回のヤマザトタンポポ探しでより一層強くなりました。

同時に、山奥の廃村にもよく進出していたセイヨウタンポポの強かさに関心せずにはいられませんでした・・・。



やまなこうへいさま すごい行動力ですね。

旧窪川町金上野のヤマザトタンポポの生育地は国道56号の法面です。一度しか行ったことがありませんが、N 33.18052 E 133.13981あたりです。

四万十市方面に向けてやや上り坂になった道路の法面にシロバナタンポポと混生していました。生コン工場が目印です。登りつめたあたりでは、道路から少し離れた草地にも生育していました。

ここも、いの町清水上分の生育地と同じく、分布はごく狭い範囲に限られており、自然分布とするには疑問を感じます。

梶原町は各所に分布し、愛媛県の生育地とも連続することから、自然分布と考えます。

タンポポは人の生活と密接に関連している植物ですので、意図的・非意図的に人の活動に伴って分布が拡大することが考えられます。分布を考察する上では難しい植物ととらえています。



返信 (3)

### いの町のヤマザトタンポポ

やまなこうへいさんが「ヤマザトタンポポ、どこにあるのだろう。」で投稿されたキバナシロタンポポの写真はヤマザトタンポポかもしれませんね。

ヤマザトタンポポはシロバナタンポポよりスレンダーな姿をしており、頭花の色がすっきりしたレモン色をしています。

総苞外片の形態からシロバナタンポポの黄花品キバナシロタンポポとされたと思いますが、ここのヤマザトタンポポの総苞外片は悩ましく、判断を迷わされます。

総苞外片の形状について詳しいことは、別にご書きます。



No.64 AKR1948 2024年4月22日 16:34 ...

こんにちは。

今日の午前中だけ予期せぬ晴れ間があったので、昨日閉じていた花も開いているのではないかと再訪してきました。

昨日とは打って変わって満開で、雨の夕方とは見え方がこうも変わるものかと思ひ知らされました。

この産地はまだ群生が観られます。

周囲のメッシュも環境としては同じようによく手入れされた良い畑に思えますが、なぜかこの畑に局在していますね。

全体的な印象として私にはどうしてもシロバナタンポポと重なって見えるのですが、シロバナタンポポが周囲に普通に観られる一方、このヤマザトタンポポは分布を広げられていない点で、やはり根本的な部分が違うのかもしれませんが。

私にとってはこれが初めてのヤマザトタンポポなので、今後各地のものを観てその幅を捉えたいと思います。

シロバナタンポポの総苞も反り返り具合が1-3くらいで変わり得るのなら、ヤマザトもそのくらいのバラつきがあっても良いのでは無いかとイメージする一方、兵庫の3枚目のものはクモ毛の様子が違って見え、これはシロバナとは重ならない特徴のように思えました。



No.66 やまなこうへい 2024年4月22日 22:25 ...

いの町清水上分のヤマザトタンポポの総苞外片の変異の様子を示す写真です。併せて、兵庫県のヤマザトタンポポの写真も付けました。ヤマザトタンポポについては平凡社新版の図鑑には掲載されていません。著者の森田先生は「ヤマザトタンポポとケンサキタンポポについては不明な点があり、掲載できませんでした」と話しておられます。

四国のヤマザトタンポポについては、タンポポ調査・西日本報告書2015調査報告書には「小泉（1936）が記載したイヨタンポポに相当すると思われる」とありますが、ヤマザトタンポポが何者か、ヤマザトタンポポとイヨタンポポが同じものか違うものかなどなど、未解決の部分はたくさんあります。



No.65 AKR1948 2024年4月22日 17:13 ...

返信 (2)

ヤマザトタンポポ、どこにあるのだろう。

(要約)

いの町のヤマザトタンポポ、見出せず・・・。

代わりにキバナシロタンポポを見つけました。

前回の愛媛県西条市での"シコクタンポポ"探しの続きです。

余吾一角氏の記録のある場所では見出せなかったため、今日は横峰寺への道のさらに奥、石鎚ロープウェイのある下谷、平組、野地、名古瀬、東之川の各集落を観てきました。

2015年の愛媛県の調査報告のヤマザトタンポポのメッシュを見るに、おそらくこのあたりなのではないかと考えたためです。

ただ残念ながらいずれの集落にもセイヨウタンポポが進出しており、特に野地、名古瀬、東之川は廃集落となっていて「山里」の環境は既ありませんでした。

愛媛側の横峰山周辺の間山集落ではとうとう見つけれなかったため、石鎚山を跨いだいの町側でのヤマザトタンポポのメッシュに着目し、夕方から2020年の記録のある場所に行ってきました。

2020年に確認されており、明確なメッシュ情報もあり、さらに「車道沿い」となっているわけですから、これは確実に観られるものと信じて疑いありませんでしたが、残念ながら今日見つけることは出来ませんでした。

また晴れの日の本腰を入れて捜してみようと思いますが、車道沿いにあるものを見落とすことがあるかなあと若干自信を無くしました。

ただ思いがけない発見もあるもので、同メッシュでキバナシロタンポポを観ることが出来ました。

お恥ずかしながら、初めこれがヤマザトタンポポだと思ったのです。しかしどう見ても草姿はシロバナタンポポで、花の色だけ黄色という状況だったのでキバナシロタンポポなんだろうと思い直しました。

既にほとんどが結実していましたが、萎んだ花を観て回ると見た限りすべて黄色です。

この点たんば調査2010の掲示板で坂本さんが言及されている、個体群すべてが黄花のシロバナタンポポと同じ性質のものなのかもしれません。

また来年の本調査の時には時期を早めて観に行かないと、課題が一つ増えた一日でした。



No.59 やまなこうへい 2024年4月21日 22:28 ...

AKR1948 様、こんばんは！

詳細を有難うございます。

頂いた座標を観て驚きましたが、このキバナシロタンポポを観たのはまさにその座標の場所でした。

キバナシロに目を奪われて肝心のヤマザトを観なかったようです。

もう一度行ってみようと思います。

このメッシュの場所では今でも耕作が続けられているようで、車を走らせていて「これが山里という環境か！」となった場所でした。

たんば調査のおかげで普段のスタイルでは行かないような場所にも行くことになり、大変勉強になっております…。

No.63 やまなこうへい 2024年4月22日 00:01 ...

やまなこうへい様 精力的な調査お疲れさまです。

いの町清水上分のヤマザトタンポポの生育地は N 33.68795 E133.36859です。東向いて（奥の方を向いて）道の右側に小さい車庫があり、その近くの路傍と休耕畑、左手山側のこんにゃく畑？、果樹園に生えています。2019年4月23日に調査していますので、時期的にはまだ大丈夫だと思います。2019年の際には、左手の上の方に民家があって、その方が手入れをされているようでしたが、今年はどうでしょう？

5年たって行ってみると、家に人が住まなくなったり、畑を管理しなくなった事例が多いですので、ヤマザトタンポポの生育地も気になっています。

同じ集団内で総苞外片に変異があります。1個体だけでなくたくさんの頭花の形態を確認してみてください。

場所は緯度経度で分かると思いますが、念のため下流側からの写真を付けておきます。



No.62 AKR1948 2024年4月21日 23:13 ...

そこでキバナシロの種子と近隣メッシュのシロバナの種子を比較してみました。

複数の画像を提示してその差異を共有したかったのですが、代表的な一枚を載せておきます。

傾向として、キバナシロの方は果実の棘の先端がやや開出する方向に向くため棘が目立つ一方、シロバナの方は同程度の棘でありながら先端が頂端（綿毛の方）を向くので、棘が立っていると印象をキバナシロよりかは受けません。

シロバナタンポポは基本的に全国で同一クローンだと聞いていますので、こういう個体群差が出てくるとは思いませんでした。

他のシロバナタンポポの種子も検めてみようと思います。



No.61 やまなこうへい 2024年4月21日 22:41 ...

花の色で言えば、黄色みの強いシロバナタンポポというわけでなく、しっかりとした黄色です。

ただ、総苞片の開出具合や角状突起の様子はシロバナタンポポと同じで、花茎がよく伸び、やや厚ぼったくツヤのある大型の葉もシロバナタンポポと変わりません。

挙句近隣メッシュには普通のシロバナタンポポもありました。

ただし、キバナシロタンポポの場所にはシロバナタンポポは無いようで、シロバナタンポポの場所にもキバナシロタンポポは無いようでした。



No.60 やまなこうへい 2024年4月21日 22:33 ...

返信 (4)

## 旧名野川村北川集落の興味のあるアカミタンポポ

こんにちは。

先の投稿から連投で失礼いたします。

仁淀川町の北川集落は牧野富太郎が多くの植物を観察した記録のある場所なので勉強によく通っていますが、舗装道路沿いに総苞外片の開出具合が2-3のアカミタンポポを観ました。

早速タンポポ調査のWebページで「総苞」の項目は「上にななめになる」と「横になる」で、「タネ」は「赤褐色」にチェックを入れて検索してみると59件がヒットし、高知全体で観られるものの、特に仁淀川町で多くサンプリングされていることが分かりました。

情報の蓄積具合に圧倒されました。



No.55 やまなこうへい 2024年4月19日 20:45 ...

AKR1948 様、コメント有難うございます。

改めて地図を見返すと北川集落というのは不適切で、その手前の下北川集落に当たります。

奥の北川集落にはセイヨウタンポポがよく咲いていました。

2020年の調査で国道33号線沿いの50332151メッシュにてアカミの記録があるため、南東の風が吹けば二ノ滝、下北川方面に種が飛んでいくのかもしれませんが。

一方で深い谷筋のため、山の位置関係を踏まえると国道から二ノ滝、下北川方面へ吹き抜ける南東の風が吹くものだろうかとも思いません。

高齢化の進んでいる小集落ではありますが行くたびに車とすれ違う程度には往来がありますから、地元の方の車や靴に着いて入ったのかもしれませんがね。

頑張って奥へ奥へ行っている途中なのかもしれません。一回進出してしまえばアカミタンポポにとって殖えるのは造作もないでしょう。一方で安田町の例を考えると若干この拡大の仮説に疑問を覚えます。

安田町の50331779メッシュや50341080メッシュでは2020年の調査でアカミタンポポが出ていますが、その奥では確認されていないようです。実際今年私がこの県道12号線に沿ってサンプリングしていった際も、アカミタンポポはこの辺りに限定され、馬路村の方に拡がっているということはありませんでした。

風通しは仁淀川町よりもずっとよさそうである上、車の往来も活発に思われますが、アカミタンポポは5年でそう拡がれなかったようです。

車や靴に付着して拡大するというのは、案外たんぼぼにとってはそうそう無い貴重な拡大の機会なのかもしれません。

風散布の植物の分布拡大を考える上でも、継続して実施されているこのたんぼぼ調査の重要性を実感している今日この頃です。

No.58 やまなこうへい 2024年4月21日 21:46 ...

仁淀川町の在来総苞型のアカミタンポポについては、前回調査で仁淀川町湊溜から県境までの国道と、右岸側の大度ダム公園付近を調査しました。国道沿いに多かったので、国道33号経由で入ってきているのかな？と考えましたが、北川集落にもあるとなると、そんな単純な話ではなさそうですね。この形状のアカミタンポポは県下に広くみられるというより、仁淀川町に特異的に見られる気がします。写真は2020年4月22日に大度ダム公園で写したものです。



No.57 AKR1948 2024年4月19日 21:23 ...

このアカミタンポポと同所に生えているセイヨウタンポポは頭花が5.5 cmと大きめで、葉身はクシバタンポポのような裂け方をしています(写真)。種子は褐色で、総苞外片は強く反曲します。

先ほどの投稿はちょうど4つの頭花と1つの綿毛が写っていますが、向かって左側の縦に2つ並んだ頭花の下の方がセイヨウタンポポで、残りは綿毛を含めアカミタンポポです。

セイヨウタンポポも頭花の大きさや葉の裂け方に注目してみると色々な姿をしており、まれに見慣れない姿のものを観るとワクワクします。



No.56 やまなこうへい 2024年4月19日 20:52 ...

返信 (3)

次のページ >

<< 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 >>

合計128件 (投稿71, 返信57)



## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

## タンポポで学ぶ土地の利用

こんにちは。

私の住むいの町本川地区でもたんぼの盛りの時期になりました。

ただ当地には水田も土手も無いので在来たんぼは見られず、延々セイヨウタンポポや在来総苞型のよくわからないものを観ています。

石鎚山を超えた向こう側、愛媛県西条市では点々と在来たんぼが記録されており、勉強がてらシコクタンポポ (*Taraxacum shikokianum* Kitam.) を捜していますが、たんぼを取り巻く厳しい現状を実感させられました。

シコクタンポポは横峰山で採られた余吾一角氏の標本に基づいて北村四郎が記載し、後に北村自身がツクシタンポポの異名としたたんぼと理解しておりますが、愛媛県のタンポポ調査2015でもその実態の把握が課題に挙げられています。

安直に林道通行料1500円を払って横峰寺を探索してみましたが、そもそもたんぼが生えるようなオープンな環境はほとんど無く、延々陰湿な杉植林地が続きます。伐採跡地、駐車場、奥の院星が森遥拝所はセイヨウタンポポが侵入し、境内は丁寧に整備されていてたんぼすらありませんでした。

納経所でお話を伺うと、植林は大分進み、今ある道も最近均してこしらえたものだという事でした。ただし、昔は山全体が草原だったというようなことは無く、昔から植林地ではあったようです。

落胆して帰宅し、手掛かりを求め余吾一角氏について調べていると『周桑郡植物誌』の存在を知りました。幸い国会図書館のNDLで読めたのでキク科のところを見てみるとピンゴ！「カンサイタンポポ？」という記述で横峯山と戸石山が挙げられており、環境として"山地の乾地"とありました。戸石は西条市丹原町楠窪、志河川ダムの奥の集落です。さらに愛媛県のタンポポ調査2015でもちょうどいい感じの位置のメッシュにヤマザトタンポポとしてのマークアップがありました。ヤマザトタンポポであれば余吾氏の「カンサイタンポポ？」の表記も納得です。2015年の調査で確認されているわけで、山奥の集落なんだから雰囲気のある場所を当たればまず観られるだろうとウキウキで観に行きましたが、延々あるのはセイヨウタンポポ。戸石、影無、借宿、小谷などの集落をしらみ潰しに回りましたが、シロバナタンポポが辛うじてあるくらいでセイヨウタンポポがほとんどです。

どうしてこんな山村にセイヨウが侵入しているのだろうか。地元の方に聞きとりをしてみると、余吾氏の歩いたであろう90年ほど前は一体に野稲、アワ、小麦、イモ類の畑があり、戸石の集落も尾根筋まで家が見えるほど広がっていたそうです。通学路ではセンプリやリンドウなども普通に観られたとのこと。ただ現在その集落跡にはスギが植えられ、全面植林地となっており、辛うじて残る影無のクリ・ユズ畑も除草剤をたくさん使うとのことでした。なるほど道理で写真のような"ありそうな環境"にたんぼがまったく生えていないわけです。さらに悲しいことに、ここ10年での土地の変化をお伺いしてみると天ヶ峠と余野に抜ける林道が全通し、台風等で山の上に続く道の管理が断念され、また繰り返される氾濫対策で川原が嵩上げされたとのことでした。セイヨウタンポポが多い理由もハッキリしました。

植物誌の感覚では2015年という最新情報のように感じてしまいますが、10年もあれば消えるものは消えるのかと勉強になりました。これで余吾氏にまで廻れる産地は絶望的になりました。余吾氏と交流のあった山本四郎氏の『愛媛県産植物の種類』でも特に新事実は追加されていません。もっとも、単純に私が見落とした可能性もありますが、草原性の在来たんぼは今後ますます観るのが難しくなっていくのかもしれない。



No.54 やまなこうへい 2024年4月19日 20:31 ...

[返信](#)

今回は国道439号、旧吾北村小川西津賀才の高岩トンネル北口に根を下ろしたカンサイタンポポを紹介します。

最初に確認したのは2014年4月24日です。株数について、はっきり数えた記憶がありませんが、写真では1株です。その時は、カンサイタンポポは単独生活は無理なので、すぐに消えるだろうと考えました。しかも生えているのはアスファルトとコンクリートの隙間で、カンサイタンポポの本来の生育地とは全く違う環境でした。

2019年の調査で再度訪れると、5株に増えていました。また、個体も大きくなり1株で68個の頭花（開花済みのものを含めています）をつけていました。環境に適応した数少ない個体が、1個体あたりの花を増やすことによって集団を維持していこうというパイオニアの熱意みたいなものを感じました。

先日（4月11日）に調査に向くと18株に増え、道路のアスファルトとコンクリートの間に列をなしていました。

多分このまま、分布を広げることができるのではないかと考えています。



No.52 AKR1948 2024年4月11日 21:54 ...

このタンポポがどうしてここにいるかについて考えてみました。

周辺を調べてみると、トンネルの出口と旧道との間に、3角形の空き地があり、現在は廃墟になっているものの、パーゴラやベンチが設置され、藪になっている植物も植栽されたものと見ました。トンネルの開通は1991年のようです。

トンネル開通時に利用者のために設置された園地の整備に伴って、タンポポがこの地に来たものの、園地の荒廃によって住みづらくなり、道路に逃げ込んだというストーリーを考えてみました。



No.53 AKR1948 2024年4月11日 22:09 ...

返信 (1)

## 仮説 くろしお鉄道によって運ばれたかな？カンサイタンポポ

前回四万十川後川堤防のカンサイタンポポを確認することができ感激の話しをしました。

この場所のカンサイタンポポが生育地の拡がり方を興味深く思いました。堤防上面の線路すぐ脇に沿って生え、それから堤防南側の法面左右に扇状に生育しています。線路北側には発見できませんでした。ということは、この場所のカンサイタンポポは、線路南側から生え徐々に拡がっていったと考えられます。

なぜ南側なのか。タンポポが実を付ける4月あたりまで、この場所は北西からの強い風が吹きます。このことからタンポポの種は、南側に飛ばされるはずだ。

では人の手ではなく、なぜくろしお鉄道なのか。前提条件として、どの場所かで飛んできたタンポポの種がたまたま車両と車両の間にひっかかったとします。走っている時は、車両と車両の間は、風が直接当たらず、くっついた場所にそのままある確率が高いでしょう。

さて、四万十川後川堤防です。線路は川に垂直に走っています。そしてカンサイタンポポが生えている堤防に高知方面から来ると右にほぼ直角に曲がることと、中村駅が間近なので徐行運転になります。右に曲がる時、車両と車両の間は、北側が狭く南側がハの字のように開きます。風の物理法則によって強い風が北側から南側に吹きます。さらに強い北西の風が吹いていたら車両と車両の間は、強風になるでしょう。しかも汽車のスピードは最徐行です。これだけの条件が揃えば、ここまで頑張って付いていた種も南側に落ちるのではないのでしょうか。それではまた、前田さんの苦笑する顔が。

No.50 くろしお ノム 2024年4月9日 14:49 ...

列車によるタンポポの移動、楽しいですが証明が難しいですね。

カンサイタンポポを含め、高知県にもともと自生しないタンポポが生育している場所は造園や植栽工事がされたところが多く、これに伴って非意図的に持ち込まれたと考ええるとすっきりすると思います。

面白いのは、大名のお国替えに伴うタンポポの移動で、大名が樹木などを移し替えるときに意図せずまぎれここんだ可能性があると考えられています。

2012年の朝日新聞の記事を画像で紹介します。



No.51 AKR1948 2024年4月11日 21:16 ...

返信 (1)

### 異郷の地で分布を広げるカンサイタンポポ

土佐市高岡町の仁淀川右岸堤防に咲くカンサイタンポポです。タンポポ調査2010の時に、高知大学の学生さんが見つけました。仁淀川の堤防のうち、カンサイタンポポが見られる区間（右岸河口から5 k ~ 5 k 6 0 0 m）が築かれたのは、昭和51年から昭和57年で、築堤工事において筋芝工（すじしばこう：盛土のり面の土羽打ちのとき、芝を水平の筋状に挿入する工法。）が行われています。その際、芝に混じてカンサイタンポポの種子あるいは株が移入された可能性が高いと考えています。

出身地が分かるかも？と考えて国土交通省芝の入手先を尋ねましたが、築堤から20年以上が経過しており、分かりませんでした。異郷の地に根を下ろしたカンサイタンポポは、堤防の環境があったのか徐々に分布域を広げているように見えます。



No.46 AKR1948 2024年4月6日 22:43 ...

仁淀川堤防に咲くカンサイタンポポの総苞のバリエーションです。

仁淀川の場合、左端のほっそりしたものが多く、まれに中や右のものが見られます。



No.49 AKR1948 2024年4月7日 23:00 ...

在来タンポポの中でも、最もかわいい姿をしています。



No.47 AKR1948 2024年4月6日 22:46 ...

返信 (2)

## 広報によど川

4月1日発行の仁淀川町広報誌に、遅ればせながらタンポポ調査について掲載されています  
あたたかくなってきました。ポットに紅茶でもつめて、ピクニック気分で行きたいと思います

**タンポポ調査実施中**

タンポポ調査とは、タンポポを環境指標（ものさし）として、もともと日本に生育している「在来タンポポ」と外国からやってきた「外来タンポポ」の分布の割合から地域の自然度を表はる市民参加型の調査です。1999年に始まり、現在では調査が行われています。高知県では2009年に高知県立教育振興局が事務局となってタンポポ調査に参加しています。在来タンポポは自然の自生が稀な場所に、外来タンポポは道路沿いや開墾された場所などに生育しています。皆さんの家の周りに生えているタンポポを捉えて、仁淀川町内のタンポポ調査の自然度を調べてみませんか？

2月10日、「タンポポ調査説明会（説明会）」を愛媛県庁、2月26日高知中学校、2月27日日野小学校、2月28日仁淀中学校、2月29日鹿野小学校、そして2月4日長谷小学校など、町内各所で説明会を開催しました。子どもや高齢者も参加して、ポットやアビにより各所でタンポポ調査が行われています。

町内に10種類のタンポポを登録しました。調査用紙や封筒を準備していますので、興味のある方はぜひお申し込みください。

町内タンポポサロンの  
・根本町及店（土曜）  
・関本町及店（日）  
・仁淀川町観光協会（大塚）  
・秋葉まつりの運営事務局（別荘）

高知小学校での調査風景

お問い合わせ先  
高知県立教育振興局  
電話：082-882-2001

(5) 広報によど川 4月号

No.48 仁淀川町信野 2024年4月7日 07:16 ...

返信

次のページ >

<< 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 >>

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

## タンポポブースin仁淀川町久喜

仁淀川町各所、桜満開

久喜のハナモモは八分咲きとのこと

30日31日と、仁淀川町役場近くの旧吾川中学校グラウンドから、久喜、上久喜をピストン輸送する「ハナモモぐるぐるバス」が運行  
タンポポパネルを牧野植物園に貸し出しいただき、久喜の乗り換え地点にタンポポブースを設置させていただきました  
ブースの様子とぶーすからの眺めです

親子連れには興味深かったようでした。ノドがカラカラです。



No.44 仁淀川町信野 2024年3月30日 16:07 ...

あら、写真は一枚絵でした



No.45 仁淀川町信野 2024年3月30日 16:08 ...

[返信 \(1\)](#)

## やっと出会えました。黄花在来種カンサイタンポポ

やっと出会えました。在来種の黄花タンポポ、カンサイタンポポ。

黄色の在来種に逢えたのは、3月11日の黒潮町植物調査以来。あれはキバナタンポポ？カンサイタンポポ。

そして、ここ数日ミリ以下を削る作業から逃れるように、噂の四万十川堤防のカンサイタンポポを探しに行ってみました。ありましたねえ、在来種の黄花が沢山あって感激しました。一株だけなぜか総苞が反りかえったセイヨウタンポポがあって不思議でした。

また、堤防上のカンサイは、総苞が細いタイプが多いのに下の道路のカンサイタンポポの総苞はやや大きいタイプでした。

さらに、カンサイタンポポの群落の中にシロバナタンポポがあるのもオモシロイですねえ。



No.43 くろしお ノム 2024年3月27日 15:54 ...

返信

## ついでの調査 その2

昨日（22日）は土曜日から火曜日までお天気が悪いという予想を受け、予定を変更してタンポゴ調査を行いました。もっとも、私の場合、年金生活者なので、大した予定も入っていないのが実態なのですが・・・

先日の続きで、仁淀川沿いを柳瀬橋から上流横倉橋までを調査しました。確認できたのはシロバナタンポゴ、セイヨウタンポゴ、総苞在来総苞型外来種の3種類で、タンポゴ調査としては面白みに欠ける内容でした。

そんな中で出会ったのがスズシロソウ。アブラナ科ヤマハタザオ属の植物で、高知県レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている希少な植物です。越知町の県道未改良区域の崖に生えていました。

面白い分布をしていて、四国カルストと仁淀川沿いに出できます。仁淀川沿いはこの他にも、もともとは冷温帯の植物と考えられる植物が出てきます。記録を見てみると、5年前の2019年3月22日にも対岸の町道の崖でこの植物を採集していました。

対向車や後続の車に注意を払い、タンポゴに加えてほかの植物を探しながらバイクを運転するのは、目も疲れるし肩も凝りますが、単調なタンポゴ調査を楽しくするための一つの方法として取り組んでいます。



No.40 AKR1948 2024年3月23日 10:52 ...

さらに脱線して浅尾の沈下橋です。

何とかというアニメ映画で紹介されたため、一時近寄りたがたい状況になっていましたが、昨日は平穏で、バイクで通れました。

右岸側が浅尾、左岸側が鎌井田で写真に写っている集落は鎌井田ですが、橋の名前は右岸側の地名を使っています。

この橋の雰囲気も好きですが、さらに気に入っているのが旧吾川村の久喜沈下橋。今回のタンポゴ調査は仁淀川町まで出向く必要がなさそうなのである意味残念です。



No.42 AKR1948 2024年3月23日 11:10 ...

タンポポ調査から脱線したついでに、仁淀川にかかる沈下橋を紹介します。

まずは、片岡沈下橋。

越知町の片岡と南片岡の間に架かる橋です。



No.41 AKR1948 2024年3月23日 10:57 ...

返信 (2)

### セイヨウタンポポのお花畑

昨日は土佐市の国道56号以北を調査しました。17メッシュで32サンプル採集しました。シロバナタンポポ、セイヨウタンポポがほとんどで、在来総苞型外来種が少々、キバナシロタンポポは1株でした。シロバナタンポポの最盛期でしたがセイヨウタンポポも綿毛を付けたものがあり、まあまあ効率よく採集できました。

今日の午後は高知市春野町方面を調査しました。シロバナタンポポは早くも終盤で、探しにくい状況でした。変わってセイヨウタンポポはほとんどが綿毛を付けており「タネ無し」のサンプルはごくわずかでした。ここは来年の早い時期に再調査をしなくてはと考えています。写真は春野町仁ノで見つけたセイヨウタンポポのお花畑です。わざわざ栽培しているとは思えませんが、お花畑になっていました。



No.36 AKR1948 2024年3月15日 23:07 ...

「シロバナタンポポは早くも終盤で、探しにくい状況」

開花生育情報ありがとうございます。

調査・標本採集にまだあまり行けてなく、

このままだと花が終わってしまうので、少し急いでみます。

No.39 GE059 2024年3月20日 12:07 ...

返信 (1)

### ど根性シロバナタンポポ

昨日は仁淀川沿いを調査しました。仁淀川橋北詰を起点に、左岸側を国道194号沿いに上流へ、柳瀬橋で右岸側にわたり、川沿いの県道を下ってきました。支流の勝賀瀬川で少し上流に入っただけで、ほぼ川沿いのコースです。

メッシュ単位の調査を考えると、右岸と左岸で別々に採集する必要はないかとも思いましたが、左岸側はいの町、右岸側は日高村と行政区域が違いますので両側を調査し、39サンプル採集しました。

種類の的にはシロバナタンポポ、セイヨウタンポポ、在来総苞型外来種しかなく、面白みに欠ける調査でした。

そんな中で写真を書いたのが「ど根性シロバナタンポポ」。タンポポの場合はアスファルト舗装の隙間に生えてくる場合も少なくなく、ど根性とは大げさかもしれませんが、倉庫の基礎のコンクリートブロックと犬走りの間の隙間に生えており、周辺にあるもっと生育に適したと思われる場所には全く生えていませんでした。



No.38 **AKR1948** 2024年3月19日 11:07 ...

[返信](#)

[次のページ >](#)

[<](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#) [>](#)

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

© タンボが調査・2025高知県の掲示板. All rights reserved.

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

## 津野町／仁淀川町 風の里公園

一昨日、津野町／仁淀川町の境界尾根にある「風の里公園」へ草木の花見&タンポポ調査に行ってきました。  
が、タンポポの花は全く見当たらず。開花はまだ先のようです。

国道197号道路脇や、県道378号側満天の星・せいらんの里を少し北に行った辺りまでは、白・黄のタンポポが点々と咲いておりました。

No.37 GEO59 2024年3月18日 13:04 ...

[返信](#)

## 高知サイエンスフェスタEASTで調査の宣伝をしてきました！

皆様、タンポポ調査へのご協力ありがとうございます。  
着々とタンポポが集まってきています。

今日は、田野町で開催された高知サイエンスフェスタEASTでタンポポ調査の宣伝をしてきました。  
子ども向けのイベントなので親子連れが多く訪れていました。  
他のブースのワークショップに押され気味でしたが、タンポポに興味を持ってくれ、展示を熱心に見てくださった方もいました。



No.32 高知県事務局田邊 2024年3月9日 18:44 ...

佐川町牧野公園さくらまつり期間、花見棟にタンポポブースを置くことを検討できないか佐川町観光協会に突撃しましたが、花見棟はもうテナントでいっぱいとのこと  
今日の明日はなかなか難しい

No.35 仁淀川町信野 2024年3月11日 11:12 ...

## 田邊様

くれくれ君で恐縮です  
タンポポブースが地方巡業する可能性はありますか  
親子向けの小さなイベントがいくつかあるのでちょっと相談してみたいです。小さなイベントしかないので、役場のホールとかスペースを借りるのもいいのかも  
受け入れの可能性をこっそり追求してみますので、貸し出しの可能性もこっそりご検討いただけるとうれしいです。受け入れ先が見つかりましたら改めてご相談させていただきます

自宅近くの空白メッシュでタンポポを探していると、タンポポの人だーと子どもが出てきて探すの手伝ってくれました。開きかけしか見つけられなかったのですが。盛り上がりつつあるこの機会に、新たな燃料を投入したいと考えております

返信 (2)

### 長者小学校のご兄弟から

先日タンポポ帽をかぶって訪問した長者小学校のご兄弟が、佐川町で採集したタンポポを持ってきてくれました  
タンポポサロンで場所を聞き取り調査用紙に記入  
花は開いていないですが次回お渡しいたします  
どうぞ笑顔でお受け取りください



返信

### カンサイタンポポ

昨日（3月8日）は日高村沖名から土佐市谷地へ行き、土佐市甲原へ下ってくるコースを調査し、帰りに土佐市と春野町の仁淀川堤防のカンサイタンポポを観察して帰りました。  
調査メッシュはカンサイタンポポの生育地を含めて13メッシュで、24サンプルを採取しました。  
仁淀川のカンサイタンポポの生育地は、県内でも個体数の多い所で、この他に規模の大きい生育地としては、南国市の高知大学農学部・高知空港の周辺、土佐町東石原の国道439号沿いの棚田跡、四万十市渡川河川堤防が知られています。  
その他にも小規模な生育地が点々と現れたり消えたりしますが、徳島県に接する大豊町と東洋町の生育地を除けば、他県から持ち込まれたものと考えられています。  
仁淀川右岸のカンサイタンポポは、土佐市中島の「おみろく様」に車を置かせてもらい、堤防を上流側に歩いていくと堤防の外側に生えています。  
非常にかわいいタンポポです。昨日はまだ咲き始めでした。これから見ごろになると思います。一度足を運んでご覧ください。



カンサイタンポポの頭花の写真です。

総苞が大変小さいこと、角状突起がないか、あってもごく小さいことが特徴です。



No.31 AKR1948 2024年3月9日 11:32 ...

返信 (1)

### シロバナタンポポの総苞の形態

昨日は日高村の西部、佐川町の東部を調査しました。

調査したメッシュは17メッシュ、採取したサンプルは29サンプルになりました。

ほぼ全部のメッシュでシロバナタンポポを採取しましたが、総苞の形態は、形態区分の1か1に近い2で、横になる3のものはありませんでした。

図鑑では「総苞外片はやや開出し・・・」と書かれており、2と3の間くらいのものが標準とされていると思います。

先にシロバナタンポポの総苞の多型でも書きましたが、季節によって形態に変異を生じており、季節の初めのころは外片が内片にくっついていているものが多いと考えています。

そのことをきちんと証明するには、いくつかの生育地で、時間をおいて調査する必要がありますが、未調査地区の調査を優先するために実現していません。

タンポポ調査の期間以外の年に調査すればよいのですが、今度はタンポポのことをすっかり忘れて他の植物の調査に移りますので、証明できないまま今に至っています。



No.29 AKR1948 2024年3月8日 09:36 ...

返信

次のページ >

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

© タンポゴ調査・2025高知県の掲示板. All rights reserved.

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

## ついでの調査

現在牧野植物園ではタンポポ調査に加え、植物全般の分布調査もしています。そのため、タンポポ調査のルートによっては、かねてより気になっている植物をついでに調査することがあります。

3月1日の日高村の調査でも、ひょっとしたら「アレ」があるかもしれないと、道路沿いの小川を調査するとピンゴ!!!

小川の流水辺にネコノメソウが生えていました。

タンポポ調査の七つ道具に加え、採集用具や野冊も持っていたので、標本として採取することができました。

こんなことがしょっちゅうあるわけではないですが、あったら嬉しいです。



No.28   AKR1948   2024年3月5日 23:01 ...

[返信](#)

## キバナシロタンポポ

3月1日の町西部～日高村にかけて13メッシュほどを調査、採取サンプル数は26サンプルでした。

この日のご褒美は、キバナシロタンポポ、今回調査では初見です。

日高村沖名のタンポポがたくさん生えている農道で、点在している2株を見つけました。

キバナシロタンポポは、1株の中で1頭花だけ黄色いもの、1株全体が黄色いもの、集団で分布しているものなどがあります。

集団で分布している事例は少なく、越知町の坂折川にかかる国道の橋の西詰が代表的な場所になります。



No.27 AKR1948 2024年3月5日 18:16 ...

返信

### 在来総苞型外来種

先月末から調査を本格化しています。

この日は、自宅から徒歩で鏡川への散歩コース沿いを、散歩を兼ねて調査しました。調査した範囲は4メッシュ、採取した種は各メッシュでセイヨウタンポポ、シロバナタンポポ、最後に在来総苞型外来種を採取して3種類でした。

この大形のタンポポは前回調査の時には公園の一角に生えていたのですが、その後個体数の変動、生育場所の変動があり、現在は元々の生育地では見えなくなってしまい、集団全体の個体数も減少気味です。

在来総苞型外来種は10年前には珍しい存在でしたが、普通とまでは言えないものの珍しくなくなり、見つけたときの感動も薄れました。



No.26 AKR1948 2024年3月5日 16:41 ...

返信

### タンポポサロン

仁淀川町内4ヶ所に設置したタンポポサロンに集められたタンポポのサンプルたち第四便



No.23 仁淀川町信野 2024年3月4日 14:17 ...

ありがとうございます！  
届くのを楽しみにしています。

No.25 高知県事務局田邊 2024年3月5日 08:44 ...

たびたびすみません  
タラヨウの葉っぱに刻んでみました  
もらっても困ると思いますが、次回タンポポの表紙にしてお渡しします  
ひと笑いした後に捨てていただければ



No.24 仁淀川町信野 2024年3月4日 19:31 ...

返信 (2)

### 仁淀川町小中学校への当たり方

2月10日、タンポポ調査についての説明会を仁淀川町大崎で企画、おかげさまで無事、滞りなく実施できました。少ない参加者にも関わらず、事務局からご説明に来ていただきましてありがとうございました。感謝申し上げます。

さて、タンポポ調査へ小中学生が参加する取組ができないか仁淀川町教育委員会に相談したところ、年度末のこの段階から学校行事として新たな取組を始めることは難しい(すでにスケジュールはぎっしり、新しいことをやるには既存の何かを取り止めにする必要)とのこと。そこで、生徒児童が放課後や休日に自主的に取り組めるよう、タンポポ調査について説明する場の設定をお願いしました。全校で集まる場が嬉しいけれど、(クラス数は昔ほど多くはないので)例えば理科の時間など、全クラス回っても泣きませんと。教育委員会に各校と調整していただけて、以下のスケジュールで全校集会などの場で説明の時間をいただきました。きっちり約束していませんが、5分程度です。本日、牧野植物園でタンポポ帽とタンポポの葉扇子をお借りしました。タンポポが装備で身を固め別人格になってちくっと話をしてくるき。

何かご助言ありましたらお願いいたします。

記

2/26 池川中学校  
2/27 別府小学校  
2/28 仁淀中学校  
2/29 池川小学校  
3/4 長者小学校

発言メモ(3点)

- タンポポ調査について
  - ・在来種/外来種 高知県では13種類を確認
  - ・市民ボランティアが地域のタンポポ分布を調査
  - ・1970年代から始まり高知県では2009年から
- タンポポ調査でわかる(かもしれない)こと
  - ・都市化が進展すると外来種が勢力拡大?
  - ・温暖化が進むと在来種が生息地域を拡大?
  - ・全然違うかも?! 新たな説を自由に生み出して可!
- タンポポ調査をするには
  - ・お近くのタンポポサロンへ

No.16 仁淀川町信野 2024年2月17日 21:16 ...

おかげさまで仁淀川町内5小中学校での演説が終了しました  
さっそく近くのタンポポサロンに用紙を取りに来てくれたそう  
大人が楽しむことが子どもへの最大のアピールと信じ  
黄色い服を着てそこらをうろつきます

タンポポ帽がだんだんしおれていく…  
貸出ありがとうございました



No.22 仁淀川町信野 2024年3月4日 11:03 …

新野さま

発言メモを拝見しましたが、初めてタンポポに取り組む子供たちにとっては、難しいテーマだと感じました。

まずは、高知県には13種類のタンポポが確認されているが、児童生徒の身の回りには何種類のタンポポが生えているか調べてみようからスタートしてはいかがでしょうか。子どもたちは、タンポポは何種類あると考えているでしょうか？

仁淀川町はこれまでの調査が十分行われていない地域の一つで、思わぬ発見があるかもしれません。

ついでに、仁淀川町潰溜（つえどめ ダムがあるあたり）から県境にかけての国道ぞいと、右岸側の大渡ダム公園周辺には、広い範囲に面白いタンポポがあります。

裸地によく見られる小型のものでなくて、背の高い大型のアカミタンポポで、しかも総苞外片が在来型のものです。

仁淀川町で新たな発見があることを期待しています。

No.18 AKR1948 2024年2月17日 22:10 …

返信 (2)

次のページ >

<< 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 >>

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

## タンポポ調査・2025 高知県

ホーム

新規投稿

検索

画像一覧

使い方

設定

## シロバナの綿毛が時計回りにねじれる

くろしお ノム。携帯を変えたため先ほどテストをしました。申し訳ありません。

家の前のシロバナの綿毛の花茎が先端に行くに従って時計回りにねじれていることに気付きました。ツルも全部時計回りかと思えば右回りも左回りもあるそうですね。そして北半球右回説も都市伝説ということ。

シロバナの花の茎は、ねじれていません。(多分短いから?)綿毛の花茎は、家の前の物は全て先端になると時計回りです。北半球説が違ふとすれば、風に対する抵抗力を強めるため?いやはや不思議タンポポです。

No.21 くろしお ノム 2024年2月21日 20:04 ...

返信

## 学名と和名

こんにちは。掲示板を覗いているとクローンやDNA解析など、一步踏み込んだ内容の投稿も見られましたので、分類学上の細かい話題とご提案を投稿させていただきます。端的に、高知県内でとりあえず基準となるスタンダードの個体を、調査対象種について選定して生品として維持してはいかがでしょうか。

タンポポ属の勉強を初めてまず思ったのは、植物学上のキーパーソンがたくさん登場することです。日本のタンポポ属を網羅的に記載した小泉秀雄は、宇井縫蔵や伊藤武夫など、当時の熱心な植物研究者から寄せられた標本からも記載をしており、小泉の分類体系は、あの時代の在野の研究者の集大成の感すらあります。一方でアカデミアの世界で成功した兄小泉源一との確執など、人間模様も魅力で溢れていますね。その後北村一郎が整理し、森田龍義がさらにまとめて、芹沢俊介が各論的に検証しているような印象を受けます。タンポポ調査西日本2015調査報告書の引用文献を覗いても、およそ日本のタンポポ属の体系は小泉、北村、森田で象られていることが分かります。

こうした経緯を追っていくと、それぞれの分類学者が様々な分類学的な学説を提唱しており、それに依りて実務の側では、しばしば種の取り扱いが同定以前の段階で混乱しているようです。学名と和名の対応も、しっかりと文献に基づいて参照しないとその実態を見失うことになりかねません。タンポポ調査西日本2015調査報告書の鈴木先生の検索表では、シナノタンポポの和名に*Taraxacum hondoense* Nakaiの学名が充てられています。しかし、中井以後この学名には「タンポポ」の和名が充てられており、北村(1957)でも複数の和名の中に「シナノタンポポ」は挙げられていません。一方、森田は"Flora pf Japan IIIb"で*Taraxacum platycarpum* DAHLST. subsp. *hondoense*と扱いを亜種にした上で、これに新しい和名のシナノタンポポを与えています。小泉の解説でも信州から多く標本が採られているため、この名づけは納得です。ここで、シナノタンポポの和名を*Taraxacum hondoense* Nakaiに充てることは、和名に明確なルールがないことを踏まえてもかなり不合理です。森田の見解に従えば、結果的には確かに*Taraxacum hondoense* Nakaiはシナノタンポポにあたるわけではありますが、それでありながら中井の*Taraxacum hondoense* Nakaiを学名に充てているのは、分類学上の学名と和名の対応に整合性が取れていないのです。

また、タンポポ調査・西日本2020高知県報告書では、冒頭の写真ではシナノタンポポの学名として*Taraxacum hondoense* (Nakai ex Koidz.) Moritaを充てつつ、20ページの高知県産タンポポの分類と検索表(堀清鷹)ではシナノタンポポの学名として*Taraxacum hondoense* Nakaiを用いるなど、県内の執筆者間でも統一が図られていません。また、森田先生がシナノタンポポを亜種から種の単位に改めたような文献は少なくとも報告書の引用文献中には無く、そもそも*Taraxacum hondoense* (Nakai ex Koidz.) Moritaの学名自体が正当でない可能性があります。

一般の方が多く参加される調査であるからこそ、特定の種に総称としても使われる「タンポポ」の和名を充てることを避けたいという事情と、調査上すべて種の単位で揃えたかったという意図は汲めますが、*Taraxacum hondoense* Nakaiの学名がGoogle scholar上でヒットするような文献でもシナノタンポポとして使われ始めている現状を見るに、やはりきちんと*Taraxacum platycarpum* DAHLST. subsp. *hondoense*の学名を充てる必要があったかもしれません。

そして、一般のGoogleの検索エンジンで*Taraxacum hondoense* Nakaiを検索すると、ある程度エゾタンポポの学名として扱っているサイトがヒットします。これは分類学上の変遷の経緯からすると誤りなのですが、なぜこのような取り違えが生じているのかは未だ突き止められていません。

このように、和名の適用に明確なルールが無いとはいえ、学名と和名をきちんと対応させて運用しなければ、厳密に言えばそれがどの種を指しているのか特定できなくなります。そこでご提案なのですが、今後の調査者が混乱しないよう、それぞれの「種」について、高知県での基準となるような個体を牧野植物園で管理・維持されるのはいかがでしょうか。生品が維持されていれば学名や和名の混乱をとりあえず回避出来ますし、ゲノム情報を踏まえた解析においても一貫したスタンダードを研究者に提供出来ます。5年ごとに長く続いてきている調査であるからこそ、今後を見据えた提案です。どうぞご検討ください。

ふじかわ様、やまなこうへいです。

ご丁寧にご返信くださり有難うございます。

ご教示いただきました点に関しまして自分なりに咀嚼してからお返事をしようと思っておりましたが、命名規約を一旦まがりなりにも理解してからと考えているとお礼が随分遅くなってしまいますので、先にお礼いたします。

元々オープンアクセスの小泉秀雄の記載文をいちいち読んでいっていましたが、複写を依頼していた森田先生の文献も徐々に届き始め、分類上の解釈の奥深さに魅了されています。

2009年の時点で生品の展示を試みられたとのことで、思い付いたことが既に先人が実践されているというのはとても嬉しいことです。直根性のもので鉢植えで元気に維持しようとするときと凄く大きな鉢を用意してあげないと難しいのでしょうか。地植えにしても徐々に消えていくというのは意外です。野外にはたくさんあってもいざ植えようとするとなかなか難しいものというのは植物園泣かせなものですね。

当地の町本川地区ではまだ植物の芽吹きをほとんど見ませんが、市街に降りるとシロバナタンポポが咲いていて標高差を実感できません。

タンポポ調査への参加も皆様から一歩遅れてのスタートになると思いますが、また高知各地の集団を観に行かれる機会がありましたらお声がけください！実地でたくさん観て、小泉秀雄のかつて見出したミクロな差異を今でも迎れるのか、森田先生のように種を広く捉えるべきものなのか、自分なりの解釈を形作っていきたいです。

No.19 やまなこうへい 2024年2月21日 16:27 ...

やまなこうへいさま、

こんばんは。ご提案ありがとうございます。タンポポ事務局の藤川です。

シナノタンポポについて、以下のように回答します。やまなさんの問いに対応していない部分もあると思いますが、その点、ご容赦ください。

#### 1) 学名と和名について

①タンポポ調査・西日本2020高知県報告書におけるシナノタンポポの学名の命名者名の違い

口絵：Taraxacum hondoense (Nakai ex H.Koidz.) Morita とある点。この学名Taraxacum hondoenseに対する著者名（命名者名）が、間違っていました。ご指摘ありがとうございます。

Taraxacum hondoense Nakai ex H.Koidz.に訂正が必要です。これは、執筆者による見解の違いではなく、著者名（命名者名）を間違えたまま口絵のページに掲載したことに問題がありました。混乱させてしまい申し訳ありません。種のランクの種小名である"hondoense"は、H.Koidz.（小泉秀雄）が正式に学名を発表したもので、Taraxacum hondoense Nakai ex H.Koidz.になります。

②ではシナノタンポポ？の学名は何か

Hideo Koidzumi による1933年の原記載論文に、確かにTaraxacum hondoense の和名は「タンポポ」とあり、シナノタンポポとは記されていません。小泉秀雄による1933年のタンポポ属の研究論文を読む限り、Taraxacum hondoense のホロタイプ標本が1点明記されていないこと、記載文と併せ、シナノタンポポとエゾタンポポの学名をそれぞれ追いつめ始めたら、もう少し探索とタイプ標本の閲覧が必要です。

とはいえ、Moritaが1995でシナノタンポポとして、Taraxacum platycarpum Dahlst. subsp. hondoense (Nakai ex Koidz.) Moritaの学名を充てた時に、この学名に対してシナノタンポポとしたということではなく、このMorita（1995）が提示した「一つ分類群の考え方」に対してシナノタンポポという名を与えたという考え方をしています。

その考え方でいくと文献上から、暫定的に扱うならば、

－1) シナノタンポポを独立種とする場合には、Taraxacum hondoense Nakai ex H.Koidz.

－2) シナノタンポポをエゾタンポポの種内分類群と考える場合：

改訂版日本の野生植物（平凡社）での学名、エゾタンポポをTaraxacum venustum H.Koidz. subsp. venustumとした場合には、この種小名はすでにヨーロッパ産のタンポポに充てられて発表されており、Taraxacum venustum H.Koidz. は違法名となるので、却下されます。この図鑑ではシナノタンポポをTaraxacum venustum H.Koidz. subsp. hondoense (Nakai ex H.Koidz.) Moritaとしています。これも命名規約上違法な学名の下で組み変えられたもののため却下されます。エゾタンポポの種内分類群と考えた場合には、Taraxacum brachyphyllum H.Koidz.の種内分類群として位置付けられるのではないかと記載から思いますが、タイプ標本を見ないとわかりません。もう一つの考え方で、

－3) カントウタンポポの種内分類群と考える場合：

Taraxacum platycarpum Dahlst. subsp. hondoense (Nakai ex Koidz.) Moritaとなります。Morita（1995）から。

③Taraxacum hondoense をエゾタンポポとして扱っているサイトがあること

この考え方は、旧版日本の野生植物（平凡社）をはじめFlora of Japanが出る前の図鑑類のほとんどがエゾタンポポの学名をTaraxacum hondoense としていたことによると推定されます。

④和名「タンポポ」に対する学名は？

スマレは総称でもあり、Viola mandshurica W.Beckerを指す場合と異なり、「タンポポ」は総称であって、特定の種を示さない。として

タンポポ調査をしています。

### 3) タンポポ調査2025高知県での学名と和名の対応

上述のとおり、シナノタンポポやエゾタンポポの学名や、種とするか、種内分類群として捉えるか、これはヤマザトタンポポやキビシロタンポポの扱いも同様に、研究者の間で異なっています。しかしながら、もちろん形態学的に中間的な個体は出てきて再検討しなければならぬものもありますが、これをヤマザトとする、これをキビシロとする、これをシナノとする、これをエゾタンポポとするという識別形質ははっきりさせて調査していると思っています。とはいえ、同定できないものもやっぱり出てきますが・・・。

### 4) 上述のような混乱を避けるためのスタンダードを栽培

実際に高知県下に生育するもの、またヤマザト、オクウスギタンポポ、ツクシタンポポなどはタイプロカリティーの場所などで、採集、生個体の栽培をすることをしていました。やまなさんのご提案のとおりです。2009年から集め鉢展示していたときも実際にありました。しかしながら、生品を鉢植えて維持することが、いやはや上手くいきませんでした。5年。ほとんどが翌年、こじんまりとしまい形をかえました。地植えにするとよいと考え、カンサイタンポポでは地植えて栽培しましたが、こちらも徐々に姿を消し。と、生品を系統保存・形態を維持することが、当園のタンポポ事務局では今のところできていない状況です。

標本では揃えています！また、自生地へ集団で生えているそれぞれの種を見に行きましょう！お声がけください。

No.14 事務局ふじかわ 2024年2月11日 20:45 ...

返信 (2)

## タンポポ調査七つ道具

いよいよタンポポ調査が始まります。  
私のタンポポ調査七つ道具を紹介します。

2009-10年調査から前回調査まで過去3回の経験から今の状態にたどり着きました。

といっても、この間の情報関連機器の伸展は目覚ましく、採集位置の特定は紙のメッシュ地図からスマホの地図アプリ（地理院地図）に変わりました。

写真で説明します。

上の段左がスマートホン、使うアプリは地理院地図です。その右はティシュペーパー。1回の調査で使う量が多いので、ポケットティッシュでなくてボックス型を使っています。

中の段、左がクリップボードです。封筒型の調査票を使いますので、クリップボードも小型の伝票サイズを使います。その右が封筒型の調査票。その右は腕章です。前回のものをそのまま使おうと思っています。山間部で不審者と間違われないう、また地域の方から聞き取り調査をする際などに役立ちます。

下の端はuniの3色ボールペン。落さないよう紐をつけて首にかけるようにしています。

左の大きいのが肩掛けのバッグ。3部屋に分かれていて、写真の道具、採取したサンプルを入れた封筒、その他の小物を別々に収納できて便利です。

私の場合はこの他にGPS計、標本採集用の小型の野冊を持っていますが、一般的ではないですので、ここでは割愛します。



No.2 AKR1948 2024年2月6日 14:59 ...

今回初参戦になります。

こんな感じでやってます。

手持ちのバラペン紙（薬包紙）が約990枚あるので百均でツールバッグ買って封筒とペンとホッチキスといっぺんに入れて持ち歩いています。

ティッシュが200枚5箱セットで200円。

バラペン紙(中)は通販でも1000枚260円くらいなのでそれほど高くはない買い物です。

あとは2つ折りクリップボードにメッシュ地図と調査票入れてます。

気になることあればカメラで記録していきます。



No.17 くまさん 2024年2月17日 21:55 ...

今年、初参加くろしお ノムです。

ティッシュペーパーの件及び7つ道具の件大変参考になりました。ティッシュペーパーがコンパクトで使い易いと思いましたが取り出しに難儀しております。

タンポポを採集して思っていたのですが、昔からある道の草刈りがきちんとされている所に多くありますね。数年前群落だった公園は、草だけで隅に一株しかありませんでした。陽当たりが良くても草刈りが適度になされていない所は生育に適していないみたいですね。縄文時代、この辺りは温暖化で草が密生していたはず。タンポポは、背丈の低い草が主な高地に生えていたのでしょうか。

No.4 くろしお ノム 2024年2月7日 11:27 ...

タンポポ調査7つ道具の紹介ありがとうございました！

腕章については、現在在庫がないので、追加で作成するように手続きを進めています。

調査をたくさんしてくださる方を優先的に、腕章の使用を希望される方に貸出いたしますので、ご希望の方は事務局までお声がけください。

タンポポ調査は車道沿いで調査をすることが多いので、車には充分にお気をつけて、安全第一で調査をしてください。

No.3 高知県事務局田邊 2024年2月7日 09:59 ...

返信 (3)

### 春一番仮説 三原村

前回、言いたい放題で春一番でタンポポは繁栄拡大を狙っている。と言いたい放題したので三原村に行ってみました。

三原村は、土佐清水市、宿毛、大月町のどのルートからも山の険しいルートなので空高く舞い上り到達するしかないと考えました。前回調査では、調査員の方もいらっちゃったようですが。

行ってみるとシロバナはいました。黒潮町の家の前前のタンポポの違いは、花粉があったことです。

半日陶芸、半日採集、遺跡探索で7時に寝落ちしてしまいます。では、また。

No.15 くろしお ノム 2024年2月14日 09:50 ...

返信

### 仁淀川町調査説明会開催しました

今日は仁淀川町在住の実行委員のSさんに段取りいただき、調査説明会を開催しました。

一般向けに調査方法の説明と、仁淀川町のタンポポの種類、これから発見が期待される種類について話をしてきました。最後に、2月1日から今日まで集まったタンポポの贈呈式をして、締めくくりました。

仁淀川町は長らく調査ボランティアが不在の地域でしたので、Sさんを中心に輪が広がってくれることを期待しています！

仁淀川町では独自に「タンポポサロン」と称する調査用紙の配布・回収場所を4箇所つくってくれています。

他の地域でも「タンポポサロン」のようなサテライト施設を募集しています！



No.13 高知県事務局田邊 2024年2月10日 17:55 ...

[返信](#)

[次のページ >](#)

[<](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#) [14](#) [15](#) [>](#)

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)

© タンボゴ調査・2025高知県の掲示板. All rights reserved.

## タンポポ調査・2025 高知県

[ホーム](#)[新規投稿](#)[検索](#)[画像一覧](#)[使い方](#)[設定](#)

## 修行が足りませんでした。くろしおノム タンポポの子孫繁栄戦略と開花時期

修行が足りませんでした。前回冠毛が熊手のような形と申し上げましたが、日が経つと(タンポポハンドブック保谷彰彦著P11)のように地面に対してほぼ平行になり、微風でもユラユラと飛んで行くことが分かりました。

さて、前回の実験らしきものも含め意外に数十m先まで軽く飛んで行くことが判明しました。しかし高知県中に繁栄するにはどうすればいいのか。タンポポは、思考しました。まず綿毛を和傘のように開く。そして強い風が吹かなければ種は、タンポポ本体から離れないようにする。そして強い風。

タンポポ採集を始めてとても疑問に思ったことがここ黒潮町では、12月末には咲き始めていることです。2月は、満開気味です。早くないか?受粉させる虫はいるのか。(結構いました。ハナアブや小さな甲虫)タンポポハンドブックを倍数体なので受粉しなくても大丈夫。(そうか虫は必要ない)では、なぜこんなに早く咲くのか?

風では、ないのか。もうすぐ南からの春一番が吹きます。春一番は、強い上昇気流を伴うので、上手く行けば数十キロ先まで飛んで行く可能性があります。春一番が吹くまでに発芽条件の良い自分の周りに種を散らし、そして発芽条件の良い所に落ちる確率は低いが勢力を広げるための作戦も実行する。これなら開花を早める理由も分かるねえ。賢いタンポポ !! もうすぐ他の草もわさわさ生えてくるので、種まきはいつやる。今でしょう。

次回は、なぜタンポポは、日本列島と同じラインに多いのか考えてみました。

No.12 くろしお ノム 2024年2月10日 11:48 ...

[返信](#)

## 言いたい放題 シロバナタンポポ子孫繁栄戦略と開花時期の関係

くろしおノムです。前回、タンポポの綿毛を部屋で飛ばすと50cmくらいに散らばり、遠くまで飛ばないのでがっかり。と伝えました。が、外で綿毛を飛ばすと全く違う結果になりました。風速4mほどで綿毛を吹くと多くの種は、約2mほどの場所に飛散しました。ところが突然強い風が吹き上昇気流が発生し綿毛が舞い上がり、なんと瘦果を下にまるでヨットのよう風に乗り敷に消えて行きました。つまり、上昇気流の風がポイントだったのです。これによってかなり遠くまで運ばれことが分かりました。冠毛を見ると先が熊手のようになっており、上昇気流を受け易い構造なんですね。びっくり !! さて、開花時期との関係ですが、次回。

No.8 くろしお ノム 2024年2月9日 08:06 ...

事務局で入力されたタンポポ調査の集計などの簡単なシステムづくりを手伝っているnakanakaです。投稿内容の「部屋の中や外での調査風景」を勝手に頭に浮かべ楽しみながら読まさせていただきました。タンポポ調査自体は、まったくのビギナーなのでコメントできませんが、次回の投稿も楽しみにしています。

No.11 nakanaka 2024年2月9日 16:14 ...

[返信 \(1\)](#)

## サンプル集まってきています

皆様、タンポポ調査へのご協力ありがとうございます。  
専門的な内容の投稿もありがとうございます。

調査がスタートし、タンポポもまだちらほら咲いている程度ですが、  
ちゃくちゃくとサンプルが集まってきています。  
なるべく早くサンプルを整理して、調査の進捗状況が分かるように努めます!

すでに特設ページでは、少しですが、今年データをアップしています。  
写真も送っていただければ、特設ページで見れますので、  
撮影された場合は、事務局までどのサンプルの写真かわかるように明記してお送りください。

明日から3連休です。  
寒さも和らぎましたので、お散歩がてら、調査よろしくお願ひします！



No.10 高知県事務局田邊 2024年2月9日 15:58 ...

返信

### シロバナタンポポ総苞の多型

シロバナタンポポは高知県ではごく普通にみられるタンポポです。  
無融合生殖をおこない、単一のクローンとされていますが、「本当にクローン？」と疑いたくなるほど、総苞は多型です。  
写真左の端の3本のは、総苞外片はやや開出し、一部は反り返る、よく見かけるタイプです。ただ、詳細に観察すると、3本のうちの左の端のものは総苞外片の一部が葉状に大きくなっています。  
写真左から2番目のものは、総苞外片の長さが内片の3/4ほどあり、大きくて、厚みのあるタイプです。土佐市積善寺の果樹園で見かけました。  
写真左から3番目のものは、外片の長さは内片の1/2程度で、角状突起が大きいタイプです。高知市朝倉の草地で、春の早い時期に見かけました。  
この2番目と3番目のものはケイリンシロタンポポではないかと疑い、専門家の方にサンプルを送りDNA解析をしていただきましたが、結果はシロバナタンポポでした。  
写真右の端のものは、外片が内辺に圧着し、内片の1/3程度で、角状突起はほとんどありません。こちらの方はキビシロタンポポではないかと疑い、調べましたがキビシロタンポポではありませんでした。高知市鏡で広く見受けられます。  
単一クローンと言われながら場所や開花期によってこんなに違います。シロバナタンポポも詳しく観察してみると面白いです。



No.7 AKR1948 2024年2月8日 14:27 ...

返信

### 環境から取り残されるタンポポの生存戦略？

先週咲いていたタンポポの総苞が雨が上がり晴れた6日の日に伸び始め7日には35cmまで伸びました。そして7日午後には種が開花？しました。イメージでは風に乗って遠くまで飛んで行くと思いましたが、が、部屋でふっと吹いて実験したところ、強く吹いても50cm飛びません。

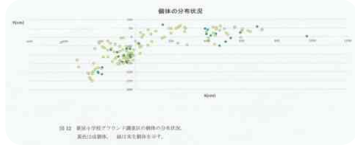
ありゃ？と思いましたが、タンポポの生育場所は、今回探していて非常に条件が限られていました。つまりより遠くに飛ばすより親の近くに落ちた方が発芽率が高いことが予測されます。

多くの田畑が放棄される現代。コンスタントに草刈りを行ってくれる道路脇が発芽の好条件なのでしょう。

No.5 くろしお ノム 2024年2月7日 19:08 ...

2012年に土佐市でキバナシロタンポポの小さな集団の調査結果を報告します。直接瘦果の散布範囲を調べたものではなく、開花株（成个体）と実生個体の分布を調べたものです。

調査の結果実生個体は、そのほとんどが成個体の分布の範囲内に分布していました。散布された後発芽に至らない瘦果もありますので、実生株の位置＝散布域にはなりません、考えられているほど広範囲には散布されていないことが分かりました。タンポポは風散布の代表のようにとらえられており、綿毛で遠くへ飛んでいくようなイメージがありますが、実際は多くの次世代が親のすぐ近くで育っています（成個体と実生個体の分布図の一つを画像で添付しました。黄色が成個体の位置を、緑が実生個体の位置を示します）。ただ、地域全体を見た場合、集団から離れた場所で開花している株もあります。例えば、強い風によって瘦果が遠くへ運ばれ、その場所が発芽に適した条件を備えていた、というようにいくつかの条件がうまく重なった場合には、親から遠く離れたで次の世代が育つというような事例も当然あると考えます。このように着実な親の近くでの個体数の増加（親が育っている場所は、タンポポの生育にとっての適地）と、偶然が重なった新しい場所での実生の発生というシナリオで、タンポポが集団を維持し分布域を拡大していると考えています。



No.6 **AKR1948** 2024年2月8日 09:32 ...

返信 (1)

次のページ >

<< 6 7 8 9 10 11 12 13 **14** 15 >>

合計128件 (投稿71, 返信57)

[ホーム](#) [新規投稿](#) [検索](#) [画像一覧](#) [使い方](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [購読](#) [設定](#)